

NEW

2019.03 (No. 107-A4)

アストロ・インフォメーション

「2019.02.24 C/2018Y1岩本彗星」

撮影機材：DSLRカメラ
 撮影場所：山本天文台
 撮影日時：2019年2月24日
 撮影者：山本幸司



☆☆

2019.02.24 C/2018Y1岩本彗星

☆☆

撮影：山本幸司 (大分市)

撮影日時 2019.02.24 22:45~23:03

大分天文協会

Astronomical Society of Oita



表紙コメント

2月末から3月初めに、岩本慧星がぎょしゃ座を横切るという情報を橋本氏から教えていただきました。ぎょしゃ座には勾玉星雲などの赤い散光星雲や星団が数多くある星の玉手箱と言えるような宙域です。そこにエメラルドグリーンの慧星が加わるのですから、色の対比が美しい。30度以下はPM2.5の影響が霞んで透明度はいまいちでした。それ以上にjpgのみで撮影してしますとというホカをしまいました・涙
山本幸司

～～目次～～

例会	01-02	例会報告
協会ニュース	03	内那さん3個目・4個目のSTEREO新慧星発見
	04	内那さん5個目のSTEREO新慧星・291個目のSOHO新慧星 発見
	04	小惑星命名提案キャンペーン 「星に名前を」
	05	リモート観測所の適地紹介の依頼
対外活動	06	2019年2月09日(土)のつはる少年自然の家：冬の星空散歩
	07	2019年2月24日(日)四季の星空観察会 第5回目 報告
機材	08	機材譲渡 太田輝章さん 内那政憲さん
	08	C11筒内気流対策改造 川端孝幸さん
会報	09	切番5000号
	09	長崎県天文協会誌「NAS速報240」受領
	09	会誌受領お礼：福岡星の会様
特集	10-16	特集 阿部哲也さん によるレンズテスト
	17	岩本慧星(C/2018 Y1)
会員活動報告	18	梶原 達夫
	18	藤吉 健児
	19	山本 幸司
	21	川端 孝幸
	22	太田 輝章
	22	奈須 栄一
	22	安元 治義
	23	中野 雄吉
	23	足立 紀彦
	23	吉野 圭司
インフォメーション	24	アストロインフォメーション バックナンバーのご案内

編集部便り

皆さんは撮影した画像はどのように保存しておられますか？RAWだの、非圧縮AVIだの、容量がかさみますね。編集は当初500GBのHDDに続々と画像を取り込んでいましたが、撮影開始当初はどれもJPEGでしか撮影しておらず、こりゃあいったいどれだけため込めるんだろう？とわくわくしたものでした。編集が一番最初に買ったPCはMacの630。その当時80MBほどだったPC内のハードディスクが、なんとこの機種は250MBもある！と喜んだものでしたが、今撮影しているEOS 70DのRAW画像は1枚で24MBあります。短時間露光多数枚撮影なんてことをやっていると、1対象あたり100枚なんて当たり前で、それだとハードに保存できません。1.4MBしか保存できないフロッピーディスクなんてもってのほか……。しかし今は1TBの外付けハードディスクなんて当たり前ですから、ずいぶん助かりますよね。それでも、RAW100枚で2500MB(=2.5GB)、月面や惑星なんて1動画で10GBは当たり前ですから、1000GB(1TB)を占拠するのに半年かかりません。ハードディスクの山積み状態です。

しかも、あとであの時撮ったあの画像はどこだ？と探しまわることにもなり、いつ撮った何の画像か、というインデックスを作っておく必要もあります。

星の写真は撮影を開始して1年ほどでそれに気づき、ちゃんと整理をするようになったのですが、実は仕事の面では、古い記録を整理してきておらず、10年続けてようやく、このままではスペースがなくなる!と気づき、その作業にかかりっきりとなっけてしまっています。ハードディスクを積み重ねるように、職場をいくつも積み重ねることはできませんから……。

かといって古いものは何でも捨てたらよい、というものではありません。阿部さんのレポートにもありますが、オールドレンズにもその良さがあります。捨てず、場所を取らず、大切に取っておく、ということも、決してガラクタコレクターではない、意味があります。

この、古いものをどう保存しておくかという点においても、本職より趣味の方が一歩先を行っているというのは、それでいいのだろうか？と悩む編集です。



編集：2019年04/23

収載画像 インフォメーション (NO.4993) から
インフォメーション (NO.5053) まで

編集者：藤吉健児

発行責任者：山本幸司(会長)

記事内容などに質問・ご意見あるときは
大分天文協会事務局までご連絡ください。

大分天文協会事務局

〒870-0924大分市牧3-13-30

TEL：097-556-9565 FAX：097-556-5067

お急ぎの時は090-1923-7889 24時間 OK

wae@fat.coara.or.jp

大分天文協会ホームページ

<http://astro-oita.org/>

March 3 2019

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7 ●	8	9
10	11	12	13	14 ●◐	15	16
17	18	19	20	21 ●	22	23
24	25	26	27	28 ●◐	29	30

3:28
月と土星の接近(19')

31

3月13日・・・ヘルクレス座x流星群
3月13日・・・じょうぎ座γ 流星群
3月15日(不定)・・・おとめ座η 流星群
3月20日・・・みずがめ座κ 屋間流星群
3月30日・・・くじやく座δ 流星群

April 4 2019

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5 ●	6
7	8	9	10	11	12	13 ●◐
14	15	16	17	18	19 ●	20
21	22	23	24	25	26	27 ●◐
28	29	30				

17時06分 月と金星の接近 (02° 46')
04時44分 水星と海王星が接近 (00° 23')
13時38分 月と水星の接近 (03° 48')

04時11分準
惑星マケマケが衝
17.1等

ヒヤデス星団食

04時42分
水星が西方最大離角

02時32分
水星と金星が接近
(04° 17')

00時27分
小惑星バラスが衝
(8.0等)

19時47分
月が木星に最接近
(01° 19')
09時
4月こと座流星群が極大

21時54分
月と土星が接近
(00° 50')

10時23分
準惑星ハウメアが衝
(17.3等)

昭和の日

国民の休日

4月(不定)・・・てんびん座流星群
4月5日・・・へび座κ 流星群
4月18日・・・おとめ座α 流星群
4月20日・・・4月うお座屋間流星群

4月22日・・・4月こと座流星群
4月24日・・・とも座π 流星群(おすすめ)
4月27日・・・4月はくちょう座ρ 流星群
4月28日・・・うしかい座α 流星群
4月29日・・・おとめ座h(μ) 流星群

2019.03.06大分天文協会03月例会



主な内容

☆☆ 大分天文協会2019年03月例会開催されました ☆☆
2019年度03月の月例会が無事開催されました。強い雨の中多数の参加ありがとうございます。参加いただいた皆さん、お疲れ様でした！

日時：03月06日（第一水曜日） 19時より

場所：コンバルホール地下1階団体活動室

参加者（10名）順不同です：梶原・阿部・丸野・吉野夫婦・奈須・村上・石井・山本夫婦

(1) 02月の活動報告

2月06日(水) 例会（第一水曜日）＜コンバル団活＞

・・・11名参加無事開催されました。

2月09日(土) のつはる少年自然の家：冬の星空散歩

・・・53名参加無事開催されました。担当：山本F

2月09日(土) 月例観測会(月齢) 香りの森駐車場

・・・天候不良に付中止

2月09日(土) 「コミュニティレストラン 森のごはんや」観望会

・・・都合により延期となりました

2月24日(日) 四季の星空観測会5回目(冬の部) 18時～

・・・担当：丸野さん、応援：阿部さん・中野さんご夫妻・奈須さん
快星無事終了、お疲れさまでした！

(2) 03月以降の活動計画

◆印は、応援募集中です！！！！

【03月】

3月06日(水) 例会（第一水曜日）＜コンバル団活＞

3月09日(土) 予定 月例観測会(月齢) 香りの森駐車場

◆3月10日(日) 四季の星空観測会6回目(春の部)

・・・担当：丸野さん、応援募集中

3月16日(日) OTC(大道トライアングルクラブ)天体観測会

大道公民館にて

・・・担当：山本F

(3) 会報などの紹介

今月も友好団体から立派な活動の会誌などを頂きましたのでみんなで楽しく閲覧させていただきました。

・星屑 NO. 528 熊本県民天文台

・天界 東亜天文学会 2019年02月（第1125号）

2019年03月（第1126号）

・星盗 131号 福岡星の会

・NAS速報240 (Pdf版) 長崎県天文協会会誌

(5) NEWアストロ・インフォメーション紹介

2月18日配信のNEWアストロ・インフォメーション2019.02 (N

O.106) 見ごたえありましたね！編集長殿！大変お疲れさまでした！！！！

(6) 貸与デジカメ、特訓！

新人会員（大学生）の1さんに川端副会長からデジカメ一式が貸与されました。少し古いかもしれませんが、まだまだ十分活躍できると思います。まずはこれでデジカメでの天体写真の基礎を勉強・実践してその間に頑張って資金をためましょう！本日は川端副会長は仕事で来られなかったので参加した先輩たちで集中的に優しく特訓が行われました！！！！1さん、どんどん使って、星空をゲットしてください！川端副会長！ 新人のための機材提供貸与ありがとうございます！



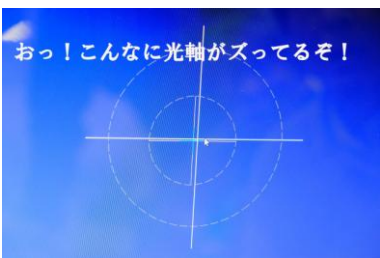
今月の受領会誌等



(4) 天界表紙に川端副会長月面写真
東亜天文学会の会誌「天界」2019年02月（第1125号）の表紙に、川端副会長月面写真が掲載されました、おめでとうございます！

(7) CCD Inspector実演解説

梶原さんが講師で「CCD Inspector実演解説」が行われました。梶原さん、雨の中、遠く日田からの参加&講師ありがとうございます。このソフト、色々便利な診断機能などがあります。その一つに、撮影機材（望遠鏡やレンズの）光軸の確認が定量的にできることです。（仕組みは良く分かりませんが）撮影した画像を開いて進めるとその画像の背景の暗さや、ガイドの正確さ、そして、撮影した機材（望遠鏡やレンズの）光軸のずれなどが定量的にわかります。実演として、会員撮影のいろいろな画像でやってみると光軸のずれが表示され「お！！！！！」とどよめきが沸きます！！！！同じ夜に撮影した2枚でも、対象が変わり、カメラは回転させていないにもかかわらず機材の向きが変わったため、ほんのわずかに接眼部に動きが出たのでしょう、光軸が動いていることもわかりました。これは凄いソフトですね！！！！



CCD Inspector実演解説中の梶原さん



<http://www.ccdware.com/products/ccdinspector/>

梶原さんから例会で「 CCD Inspector 」の紹介、診断などを行ってくれたと連絡が来ました、ありがとうございます。どのような物か知識が無かったので少し調べてみました。

CCD Inspector のHP
<https://www.ccdware.com/products/ccdinspector>

上記サイトをGoogle翻訳
<https://translate.google.co.jp/translate?hl=ja&s=en&u=https://www.ccdware.com/products/ccdinspector/&prev=search>

おもしろい機能ですね！
 超精度の観測をされる方にはこのようなツールが
 必需なのかもしれませんね・・・

☆☆「 例会でCCD Inspector 」： 梶原 達夫 さん☆☆
 この所ぐずついた天気が続いていましたが、今日は透明度も良く快晴です。水曜日の例会には参加予定です、ノートパソコンを持参しますので、興味のある方はUSBにご自分の撮影画像を書き込んでお持ちいただければ、CCDInspectorで光軸、スケアリング、星の丸さ、等画像診断が出来ます。どの程度正確かは解りませんが、ある程度は参考にできるのではないかと思っています。カメラレンズの撮影画像でもOKです。

(8) 星を小さく！！

天の川付近などを撮影した時、あまりにも星が多く写り、対象が分かりにくくなる場合があります。そんな時、色々な方法で背景の星々を目立ちにくくするため、星を小さく見せる画像処理する方法があります。色々な手法があるようですがPhotoshopを使ってを梶原さんがステライメージを使ってのF式ダイエットを山本が紹介いたしました。

(9) お土産は大分名産椎茸！

大分は、美しい星空・雄大なくじゅう高原・日本一の温泉・美味しい魚・美味しい豊後牛などなど色々な名産がありますが、椎茸の生産も日本一です！その生椎茸を、梶原さんが大きな袋いっぱいお土産に持って来てくれました。しかもご自身で作られた安心安全な取り立ての超新鮮な生椎茸です。しかも超肉厚の冬菇も多数入っています。今回は参加者があまり多くなかったので各自袋いっぱいの椎茸をお土産に頂きました。梶原さん、講師以外にお土産までありがとうございました！

梶原さんから袋いっぱいの生シイタケを頂きました！
 (あらかた分けた後の写真)



(10) 恒例企画の「今月のオークション」コーナー
 「機材・お宝紹介」コーナー
 「画像処理セミナー」
 ・・・・今月はお休みでした。



例会歓談風景

内那さん3個目のSTEREO新彗星発見

大分天文協会会員の内那さんが、3個目のSTEREO新彗星発見しました!!!
(ほかに290個のSOHO彗星の発見があります合計293個ですね、凄い!!!)
2019年に入って1個目の新彗星発見、本当におめでとうございます!そして、お疲れ様です!

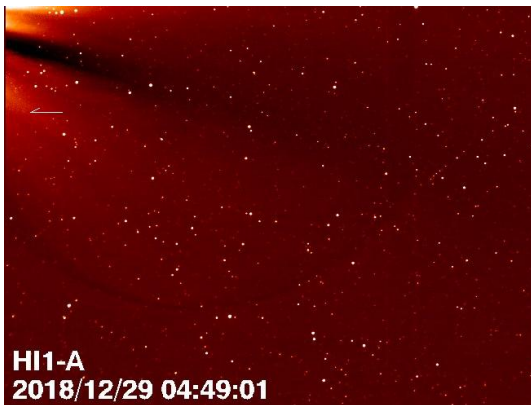
事務局

20190220配信 No5021

内那 政憲

私(内那)は、STEREO衛星HI1-A画像の、2018/12/29の画像からKreutz(クロイツ)群の彗星を発見し、管理者のKarl Battams氏にメールを送り、STEREO-comet-huntersのウェブサイトにも報告していましたが、その彗星がSTEREO-109として確定されました。この発見は、Trygve Prestgardとの同時発見となりました。STEREO彗星の発見としては3個目の彗星になります。(ほかに290個のSOHO彗星の発見があります)

アメリカ海軍研究所のKarl Battams氏は、2018年12月から2019年1月初めに発見されたSOHO彗星とSTEREO彗星の確定番号を発表しましたが、私が12月中に発見した2個のSOHO-Kreutz群彗星と1個のSTEREO-Kreutz群彗星も含まれています。STEREO-No.109のSTEREO彗星はTrygve Prestgardとの同時発見となりました。



These conclude the SOHO and STEREO discoveries for 2018:

STEREO:

ID# Report Date/Time MSG# Discoverer(s) CAMS Group Images of...

0107 Dec24,18 17:13 email T.Prestgard HI-1 Kreutz Dec23,18
0108 Jan01,19 07:11 email T.Prestgard HI-1 Kreutz Dec28,18
0109 Jan01,19 07:11 email Prestgard/Uchina HI-1 Kreutz Dec29,18
0110 Jan02,19 18:10 email T.Prestgard HI-1 Kreutz Dec31,18

SOHO:

Soho# Date/Time of Post Discoverer Tel Group Images of...

3662 Dec01,18 04:17:25 Boonplod,Tan C2 Kreutz Dec01,18
3663 Dec01,18 14:19:34 H.Tan H1,C2 Kreutz Dec01,18
3664 Dec04,18 04:07:34 W.Boonplod C2 Marsden Dec04,18
3665 Dec05,18 03:58:08 H.Tan H1,C2 Kreutz Dec04-05,18
3666 Dec06,18 05:47:24 W.Boonplod H1,C3,C2 Kreutz Dec05-06,18
3667 Dec07,18 15:28:30 R.Kracht C2 NonGrp Dec07,18
3668 Dec09,18 10:48:36 H.Tan H1,C2 Kreutz Dec09,18
3669 Dec09,18 12:13:55 W.Boonplod H1,C3,C2 Kreutz Dec09-10,18
3670 Dec10,18 14:57:31 W.Boonplod H1,C3,C2 Kreutz Dec10-12,18
3671 Dec12,18 12:26:57 W.Boonplod H1,C3,C2 Kreutz Dec12-13,18
3672 Dec12,18 14:57:31 W.Boonplod H1,C2 Kreutz Dec12,18
3673 Dec13,18 01:35:54 M.Uchina H1,C3,C2 Kreutz Dec12-13,18
3674 Dec14,18 10:51:29 W.Boonplod H1,C2 Kreutz Dec13-14,18
3675 Dec19,18 03:28:05 W.Boonplod H1,C3,C2 Kreutz Dec18-19,18
3676 Dec21,18 22:56:02 W.Boonplod H1,C2 Kreutz Dec21-22,18
3677 Dec24,18 16:54:07 M.Uchina H1,C2 Kreutz Dec23-24,18

内那さん4個目のSTEREO新彗星発見

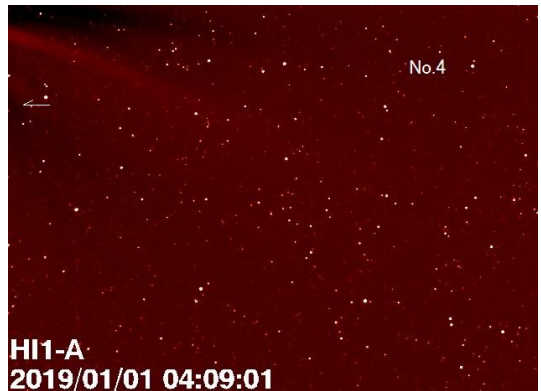
大分天文協会会員の内那さんが、4個目のSTEREO新彗星発見しました!!!
(ほかに290個のSOHO彗星の発見があります合計294個ですね!!!)
2019年に入って2個目の新彗星発見、本当におめでとうございます!そして、お疲れ様です!

事務局

20190223配信 No5025

内那 政憲

私(内那)は、STEREO衛星HI1-A画像の、2018/12/31~2019/1/1の画像からKreutz(クロイツ)群の彗星を発見し、管理者のKarl Battams氏にメールを送り、STEREO-comet-huntersのウェブサイトにも報告していましたが、その彗星がSTEREO-112として確定されました。STEREO彗星の発見としては4個目の彗星になります。(ほかに290個のSOHO彗星の発見があります)



内那さん5個目のSTEREO新彗星発見

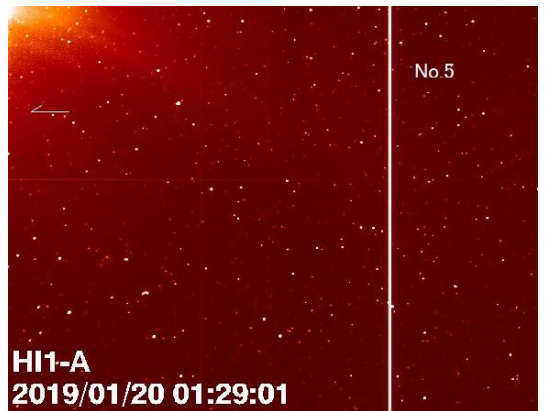
大分天文協会会員の内那さんが、5個目のSTEREO新彗星発見しました！！
(ほかに290個のSOHO彗星の発見があります合計295個ですね！！)
2019年に入って3個目の新彗星発見、本当におめでとうございます！そして、お疲れ様です！

事務局

20190223配信 No5026

内那 政憲

私(内那)は、STEREO衛星HI1-A画像の、2019/1/19~2019/1/20の画像からKreutz(クロイツ)群の彗星を発見し、管理者のKarl Battams氏にメールを送り、STEREO-comet-huntersのウェブサイトにも報告していましたが、その彗星がSTEREO-118として確定されました。STEREO彗星の発見としては5個目の彗星になります。
(ほかに290個のSOHO彗星の発見があります)



内那さん291個目のSOHO新彗星発見

大分天文協会会員の内那さんが、2019年のSOHO彗星の発見としては1個目、通算では291個目のSOHO彗星を発見しました！！(ほかに5個のSTEREO彗星の発見があります合計296個ですね、凄い！！)
2019年に入って4個目の新彗星発見、本当におめでとうございます！そして、お疲れ様です！

事務局

20190223配信 No5026

内那 政憲

私(内那)は、太陽観測衛星SOHOに搭載されているコロナグラフLASCO-C2画像の、2019/2/23、19h00m~19h36mの4枚の画像から、Meyer(メイヤー)群の彗星を発見しました。19h00mの画像上の彗星のピクセル座標は、X=4、Y=102(1024X1024、Upper Left)です。2019年のSOHO彗星の発見としては1個目、通算では291個目の彗星となりました。(ほかに5個のSTEREO彗星の発見があります)非常に小さな彗星で難物でした。

I discovered a small Meyer group comet in LASCO-C2 images of Feb/23/2019.



小惑星命名提案キャンペーン 「星に名前を」

田中 千秋 顧問から「小惑星命名提案キャンペーン 「星に名前を」」の情報が届きました
ありがとうございます。
国際天文学連合(IAU)が設立して100年 にちなんだ素敵な名前を皆さん応募してください！！！！
事務局

20190219配信 No5019

田中 千秋

小惑星命名提案キャンペーン 「星に名前を」

こんにちは 田中千秋です。
すでにフェイスブックの新大分天文協会には書き込みしましたが、標記のキャンペーンが開始されました。
つきましては、アストロインフォメーションでも広報していただきたくお願い申し上げます。
内容は次のとおりです。
よろしくお願い致します。

本来3月初旬に発行するはずの本会誌の発行が遅れたため紙面上では締切期限を過ぎた情報となってしまいました。
MMでは期限内に配信されていたのですが。
申し訳ありません！！！！

編集部

小惑星命名提案キャンペーン 「星に名前を」

今年国際天文学連合(IAU)が設立して100年となりますので、これを記念し、小惑星に名前を提案する『星に名前を！』キャンペーンを実施します。

(JAAA、日本天文協議会、企画)
国際天文学連合は、天体に世界共通の名前をつけることができる唯一の機関です。
以前にも一般公募で「たこやき」などの名前が提案され命名されたことがあります。

今回も、面白い命名案が出てくるのを楽しみにしています。

詳細は小惑星命名「星に名前を」キャンペーンサイト

<http://www.jaaa-astro.jp/IAU100/>

[http://www.jaaa-](http://www.jaaa-astro.jp/IAU100/?fbclid=IwAR2k1Sd_Kzp2D69xOAadg2Mh)

[astro.jp/IAU100/?fbclid=IwAR2k1Sd_Kzp2D69xOAadg2MhevBADEqwt-4dAKcH7IzRFLaWYUiaOWafHHw](http://www.jaaa-astro.jp/IAU100/?fbclid=IwAR2k1Sd_Kzp2D69xOAadg2MhevBADEqwt-4dAKcH7IzRFLaWYUiaOWafHHw)

をご覧ください。応募フォームもこちらにあります。

命名提案の締め切りは2019年3月31日です。

皆様のご参加を期待しております。

リモート観測所の適地紹介の依頼

内那さんから表記の問い合わせが来ました
ポーランドのアマチュア天文からのリモート観測所の適地紹介の依頼だそうです。リモート観測所・・・川端副会長が大昔から提案提唱していましたが、名倉さんがオーストラリアの有料リモート観測所を活用して何度も南天の星空観測報告を送ってくれています（最近ないな!!!）ので本当に有意義なことですね！ただ、現実的には、内那さんも危惧されているように日本での天体観測的条件は、光害・公害・晴天率・気流・・・など等決して良くはないので？マークもありますが、新天体の場合、晴れてるところ・夜のところと言う条件がまずは大事ですから世界中各地にリモート観測所が増えるためには日本も協力出来たらよいですね！
設置のためには★マークの3つの条件があるようですし、アマチュア（個人）の場合は、ご自分の観測時間との関係もありますから探すのは大変かもしれませんが、個人でも、活用できなくなった方や、日本には数多くの公共施設天文台があり、その中で開店休業の所もあるのでは候補になるかもしれませんね！
皆さん、何か情報が合ったら、内那さんか事務局にお問い合わせください！

事務局

20190211 配信 No5001

内那 政憲

いつも、大変、お世話になります。

フェイスブックのメッセージにポーランドのアマチュア天文家から下記のメールが届きました。私のフェイスブック友達になっている方ですが、ポーランドのSOHO慧星発見者のアマチュア天文家の方達と、世界各地にリモート観測所を設置しているとのことで、日本にも観測所の適地を探しています。

フェイスブックに転載するのも、どうかと思いましたが、天文協会の関係の方で協力出来る方がいらっしゃれば、紹介して頂ければと思います。狭い国土のうえ、光害の影響が大きな日本ですので、適地は少ないかも知れませんがもし、彼の要望に答えられる方は、連絡してあげて下さい。彼の、フェイスブックのURLと彼のメールの内容は下記の通りです。以上、宜しく、お願い致します。なお、適地と協力者についての希望は★の部分です。

内那 政憲



編集部より

協会の方に連絡があったのが2月の下旬です。通常通り3月上旬にアストロインフォメーションが発行できていたら、ぜひ連絡を！というところですが、発行が遅れ、4月末となってしまいました。今から連絡しても、遅いな・・・ということになると思いますが、記録として掲載させていただきます。申し訳ありません。

事務局

以下、内那さんに届いたメールとその翻訳（Google翻訳ソフト）です。

<https://www.facebook.com/Tiamat75>

Hello Dear Masanori,

I think we have never met in the real World. Except maybe some scientific conference somewhere??

Me and my Friend Martin Gedek from Poland have six remote observatories around the World. We have them in Poland, Italy, Spain, Chile and recently in Namibia. We are amateurs but we make research for the European Space Agency.

These are scientific projects and the goal is looking for lost satellites and space debris.

To have access to the full sky we would like to have remote controlled Observatory in Japan. As you know very well it should have 3 fulfilled conditions:

- ★-must be dark sky,
- ★-connected to internet
- ★-someone who can help us in case of technical problems.

We think about a small automated dome with the diameter not bigger than 2.5 meters.

Till now we do not have significant financing but we are able to pay every year some money - fee for ground lease, internet, and human supervision.

I will be very thankful if you could help us find such location in Japan.

Maybe someone is interested also in data exchange and access to our worldwide observatories. TWe are open for discussion and all is to determine.

Warmest Regards from Cracow!

Michael Zolnowsk

翻訳（Google翻訳ソフト）です。

まさのり、

私たちは現実の世界で出会ったことがないと思います。多分どこかの科学会議を除いて？私と私の友達のポーランド出身のマーティン・ゲデックは、世界中に6つの遠隔観測所を持っています。ポーランド、イタリア、スペイン、チリ、そして最近ではナミビアにいます。私たちはアマチュアですが、ヨーロッパ宇宙機関のために研究を行っています。これらは科学的なプロジェクトであり、目的は失われた衛星とスペースデブリを探すことです。全天にアクセスできるようにするには、日本に遠隔制御天文台があります。ご存じのとおり、3つの条件を満たす必要があります。

- ★ - 暗い空でなければなりません、
- ★ - インターネットに接続
- ★ - 技術的な問題の場合に私たちを助けることができる人。

直径2.5メートル以下の小さな自動ドームについて考えます。今まで私たちは多額の資金を調達していませんが、私たちは毎年いくらかのお金を支払うことができます- 地上リース、インターネット、そして人間の監督のための料金。あなたが私たちが日本でそのような場所を見つけるのを手伝うことができたなら私は非常にありがたいです。たぶん誰かがデータ交換と私たちの世界的な観測所へのアクセスにも興味を持っています。TWeは議論のために開かれており、すべてが決定することです。

クラブからの最も暖かいよろしく！

マイケル・ゾルノフスク

2019年2月09日(土)のつはる少年自然の家：冬の星空散歩

のつはる少年自然の家「星空散歩」が「カノープス（南極老人星）を見よう」と言う副題で開催されました。参加者は14組53名でした。講師は事務局Fが担当いたしました。

毎年恒例の厳寒期開催ですし、この日の天気予報は「べた曇り」で晴れ間は期待薄でしたから、多数のキャンセルが出るだろうな～と心配していましたが、キャンセルはたった2組だけだったそうで驚きました！申込者の熱心さに感心するとともに、そんな方々に生の星が見えなかったときの落胆を少しでも減らしてあげられるか？久々にプレッシャーを感じました・(´_ゝA

こんな天気の中、キャンセルせずに集まるのですから、皆さんとても熱心な方ばかりでした！嬉しい限りです！！！！また、参加者の多くは親子連れの方で、しかも子供さんの年齢がかなり低く最初心配しましたがが・・・！！はじまってみたら驚きの連続、5歳・6歳の子供たちがプレゼンの「隕石」の文字を見て、「次はいんせきや！！！！」と歓声を上げました！

星座の数は…と話すと「88！！」冬の大三角のほかに三角は？…と聞くと「夏と、春もあるよ！」と、即答！昨年もすごい天文少年がいましたが、今年もハイレベル！5歳児、侮れません！

「ポーっと、星みてんじゃねーよ！」と怒られそうでした(´_ゝA)ケラケラ
結果的には終始厚い雲に阻まれカノープスは見られませんでした。奇跡的に短時間晴れてくれて冬の大三角と周辺の星座だけ観察は出来ました。屋外の気温は1度程度はありましたが、北風がすさまじく吹いて、体感温度はかなり低く寒かったです。雲間に見えるシリウスの輝きなどに歓声が沸いていました！事務局



20190210配信 No4997

毎年恒例の「星空散歩：冬編」です

- ・17:30到着
- ・17:30～18:30 準備（毎年同様で変化に乏しいな！）
惑星（川端氏・太田氏 協力）・彗星・星座・星雲などのミニミニ天体写真展を設営
P P（パワーポイント）設営
その他曇天時対策の以下のオリジナル用品準備設営
 - ・惑星の距離を感じよう。
 - ・月の満ち欠けを体感しよう。
 - ・星座は回るor地球が回る。
 - ・月と地球の距離を感じよう。
 - ・オリオンはさそりから逃げての？
 - ・隕石に触ろう。



- ・18:30～18:50 開会式あいさつなど
- ・18:50～19:30 天文講座（1）
（毎年同様で変化に乏しいな！）
今回のメインテーマは「カノープスを見よう」ですのでまずは事前に少し勉強を！

カノープスの明るさや距離の説明
（宇宙の広さや光速についても解説）
りゅうこつ座についてアルゴ船座からの成り立ちの説明
見れたら長生きするというカノープスの伝説のお話
カノープスの見方・探し方
大分での高度・北限は？
カノープスの画像・動画の紹介
（事前に自然の家近くで撮影した画像と
タイムラプス動画を紹介いたしました）
冬の星座の説明
冬の大三角・ダイヤモンドなどの説明



- ・19:30～19:35 休憩&星空確認＝曇天＝(ノド)シクシク…
- ・19:35～20:00 天文講座（2）
天気が良ければカノープスを見に屋外観測地に移動するのですが曇天で星が全く見えないので、職員の方に見張りをしてもらいながら、その間、第2部を行いました。
今回の第二部は、
「星が見えないなら星に触ろう！」
・・・と言うわけで、本物の隕石の説明&タッチといたしました。
自作P P（パワーポイント）の隕石解説の後、
所有しているシホテアリ二隕石を皆さんに自由に触ってもらいました。



- ・20:00～20:15 星座観察
ここで、星空見張りの職員さんから「シリウス付近に雲の切れ間があります、どうしますか？」との連絡がありました。
答えは「無論、外に出ましょ！！！！」
万一でも可能性があったら諦めません！（´艸`）
北風が強く相当寒いそうですから、小さい子も多いので無理せず希望の方だけ・・・と話していましたが結局は全員の方が外に出たようです。
雲に切れ間があると言っても、ほんのわずかですが流れ雲の間隙から、リゲルが・ベテルギウスが三ツ星が、オリオン全景が、シリウスが、プロキオンが、一瞬だけ冬の大三角が見えました！
こんな状態ですし低空は厚い雲だらけですからカノープスはとても無理でした。
それでも皆さん、生の星を一瞬でも見れたことかなり満足してくれたような気がしました。
やはり本物に勝るものはありません！

- ・20:15～21:00
多目的室に戻り、職員の方が星座早見盤と自然の家で撮影したカノープスの写真をプレゼントされました。
また、職員であり、星仲間のK山さんが撮りためて作った日食やカノープス・自然の家周囲で見える星空などをまとめた動画の上映会もありました。
この動画のBGMはK山の自作・自演の音楽です、なんて多才な方でしょうか！！！！
会場の後ろに掲示したミニミニ天体写真展は随時見学してもらい皆さんの質問などを受けて歓談いたしました。



このような内容で進めた今回の天文教室でした。
次回も呼ばれれば頑張りたいですが、晴れてくれることをだけを願うばかりです。

丸野さんから、「四季の星空観察会 第5回目 報告」が届きました。ありがとうございます。
 今回は、丸野さん・中野さんご夫妻・阿部さん・奈須さん と、5名もスタッフが参加されて、皆さん本当にご苦労さまでした！他行事などとのバッティングで参加者は少なくて少し残念だったかもしれませんが、丸野さんの報告ではかえって熱心な方への中身のある解説ができたようですよ！！

初参加？の中野雄吉さんや阿部さんのマニアックな指導もさぞかし素晴らしいのではないのでしょうか？自分の得意分野・趣味の分野が、子供たちの科学的好奇心などに役に立つという実感は、とてもやりがいがあると思います。力までする範囲で構いませんので、これからもみんなで力を合わせて天文学の普及と言う天文協会の活動を盛り上げていてください！
 お疲れさまでした！

事務局

20190225配信 No5029 丸野 閑由

野津原旧中部小学校校区ふれあい広場

四季の星空観察会 第5回目 報告

今回は冬の星座とオリオン大星雲や火星プレヤデス星団等を観望してもらうことで集まりましたが、野津原中学校PTA行事と重なり、インフルエンザ罹患者の多い時期でもあったため少人数しか集まらなかった。そのぶん少人数で時間をかけてじっくりと観望できました。解説スタッフには中野さんご夫妻と阿部哲也さん奈須さんにお手伝いして頂き無事に終えることができました。人数は4名で天文協会等合わせて9名でした。

8時頃から、もやってきたので早めに切り上げることにになりましたが、次回の3月10日も楽しみに来ていただくようお願いしました。

中野さんは新機材なのかピクセン小110cm屈折を準備され自動導入で色んな星を入れて説明をしていました。星の準ソムリエとして活躍されているそうなのでこれからも解説デビューをされていくと思います。

阿部さんは高橋製作所NJPというマニアックな機材と、自作コントローラーを使って高橋13cm反射でM42とトラペジウムのシャープな像を見せてくれました。星を見るより話を聞いているほうが面白そうなる流暢でハイレベルな解説を皆さんにされました。

私はM42のデジタルカメラ同時撮影という観望を試みたのですが、途中でカメラを回転させたために軸がずれてしまい見せるまではたどり着けませんでした。モニタの表示時間を最大1.5秒に伸ばすことや、明るさを最小の-5に落とすことなども事前に設定を変えなくてはならず、インターバル撮影は今後の精進が課題となります。暗い目になれているのに明るいモニター画面を見せるのもあまり好ましいとは言えませんが明るい月夜の場合などには良いかもと自問自答しております。

天文屋がデジタルカメラを天文用に設定したのちに屋間の撮影にうつると白飛びやモニタ画面の変更など設定変更手間取るのが大変だという話で盛り上がりました。



星雲ファインダーについて、事前案内の際に、新兵器として紹介されていたので、ここに掲載させていただきます。

編集部

20190225配信 No5029 丸野 閑由

今年の四季の星空観測会について

四季の星空観測会へさっそく応援参加いただきありがとうございます。うちあわせも兼ねて今年の計画を立てました。添付のPDFファイルに記載しております。2月24日は18時くらいから始める予定です。私は一時間くらい早めに行って準備をしたいと思いますので、都合の良い時間にきていただいでかまいません。

2018年度5回目になり参加してくださるメンバーも固定化しておりますので、興味を深めさせるための工夫も必要だと思えます。以前例会で提案していましたデジタルカメラを使った星雲ファインダーを作ってみました。実際に試してはなままだ思案中なので当日には計画が変わっているかも・・・ですがオリオン座のM42は眼視とカメラでは色が違って見えたり、見えない部分が写るので宇宙の深さを味わって頂けるかと思っております。

今年も予定日の天候さえ良ければ、言うことなしなのですが・・・

中野さんの「四季の星空観察会 第5回目 報告」がFacebookに掲載されていたので、文書のみ転載させていただきます。お疲れさまでした！

事務局

今夜は快晴。大分市野津原での冬の星空観測会での初デビュー星空案内は無事に終了いたしました。丸野さん。阿部さん。奈須さん。お疲れ様です。僕は自動導入で冬の一等星ツアーをやりました。あと星雲星団も全て自動導入での案内でした。なんとか案内できてホッとします。皆さま、ありがとうございました。

僕の望遠鏡を見て頂いた方たちに、この前のスーパームーンの写真を記念にお渡ししました。喜んでもらえて良かった～。

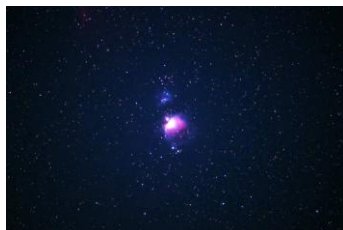
中野 雄吉

奈須さんの「四季の星空観察会 第5回目 報告」がFacebookに掲載されていたので、文書のみ転載させていただきます。お疲れさまでした！

事務局

今夜の観望会、丸野さん2台、阿部さん、1台、中野さん、1台、私は、身軽で来ましたね。って言われた。手ぶら(´_`) お客様は、3名で充分足りました。

奈須 栄一



機材譲渡

太田さんから、
「機材売却情報」が届きました
ありがとうございます。
28cmシュミカセC11EXですか！！
良い機材ですね、どなたか関心ある方は
太田さんにアタック(?)してください!!
事務局

20190217配信 No5012 太田 輝章



機材情報です。
Celestron 28cmシュミカセC11EXに興味ある方を募集します。
大型アリガタ仕様です。
頑張れば熊森さんみたいに撮れるかもしれませんが、
シーイングが悪すぎたり…。
天文終活ではありません。
高感度のCCDとかが欲しいです。

機材譲渡

内那さんから、
「317mm反射経緯台無償譲渡！」の希望者募集が
届きましたありがとうございます。
なんと！大口径317mm反射経緯台無償で譲ってく
ださるそうです！関心ある方、内那さんが事務局ま
で至急連絡ください!!!!

事務局

20190226配信 No5036 内那 政憲

いつも、大変、お世話になります。
私が30年ほど前に自作した反射経緯台望遠鏡を自宅の敷地に
置いているのですが、その望遠鏡を保管出来る場所が、近々、無
くなるため、手放すことにしました。ミード社の31.7センチ
の鏡を購入して、自作したものです。大ざっぱな作りで、振動も
あり、高倍率には向かないので、これまでは、五藤光学の
K40mmを主に使っていました。ファインダーはエイコーの小さ
な反射望遠鏡についていたものを付けていますが、これはもとも
と、月や明るい惑星しか見ないので、たまたま、手元にあるもの
を使用したものです。保管場所はカーポートの下で、大型バイク
のカバーを被せていましたが、架台部分は、むき出しの為風雨の
影響で、錆が出ているところもあります。これまで、何回か塗装
をしましたが、外に置いているとどうしても錆は出てくるよう
になります。もともとは、久住の実家に置いていましたが、軽四ト
ラックで、大分市の自宅に運びましたので
軽四トラックであれば、運べると思いますが、どなたか、買って頂
ける方がいらっしゃればと思いますので、会員の皆様にお伝え頂
けないでしょうか。取りに来て頂ける方に無料でお譲りしたいと
思いますので、宜しくお願いします。



C11筒内気流対策改造

川端さんから、
「C11筒内気流対策改造」の画像が届きました
ありがとうございます。

事務局

20190227配信 No5037 川端 孝幸

静音ファンを取り付け完了！
空気の入出口に新型キャップも。

これで流体シミュレーションを考慮して、
鏡面の層流解消に効果が期待できます。

吸排気は対角上に配置しました。

PS,これはオーストラリア某所の観測所に収まる予定です(^_^)



切番5000号

大分天文協会会員向けの連絡情報MM（メールマガジン）のIT版ミニインフォメーションは2001年1月17日に配信を始めましたが、本日、通算NO.5000配信となりました。会員をはじめ多くの方々からのご指導・ご鞭撻・応援などのおかげでここまで配信を続けることが出来ました。心より感謝申し上げます。

- ・ IT版ミニインフォメーションNO.1を配信したのは2001年1月17日でした。
- ・ IT版ミニインフォメーションNO.1000を配信したのは2006年06月04日でした。
- ・ IT版ミニインフォメーションNO.2000を配信したのは2012年12月31日でした。
- ・ IT版ミニインフォメーションNO.3000を配信したのは2015年09月13日でした。
- ・ IT版ミニインフォメーションNO.4000を配信したのは2017年11月06日でした。

そして

- ・ IT版ミニインフォメーションNO.5000を今日：2019年02月02日配信となりました。

振り返ってみると・・・

0001号から1000号までの1000通は、約5年5ヶ月！（15通/一月）
1000号から2000号までの1000通は、約6年6ヶ月！（13通/一月）
2000号から3000号までの1000通は、約2年9ヶ月！（30通/一月）
3000号から4000号までの1000通は、約2年2ヶ月！（38通/一月）
4000号から5000号までの1000通は、約1年3ヶ月！（67通/一月）

年々配信量が増してきてますね、会長としては会の皆さんの活動が活発な状態がとても嬉しいです。

特に、4000号からの1000通はわずか1年3か月です、毎日2通配信してる計算になります。

数字がすべてではありませんが、それでも嬉しいですな！

本MMIは協会の事務連絡・活動報告・観測報告などの情報の提供が主な目的ですが昨年からは会誌：NEWアストロ・インフォメーションの元原稿としても活用されています。

インフォメーションは皆さんの投稿で成り立ってますから配信が増えたということは、皆さんからの投稿が増えた＝皆さんの観測などが活発化した・・・と言うことです。

事務局としてはそれが一番嬉しいことです（笑）

今後どこまで事務仕事ができるかわかりませんが無理ない範囲で配信出来れば一番幸いです。

事務局への応援は、会員皆さんの活発な活動と観測報告などです、よろしくお願ひいたします。

5000号配信を記念して！
会長・事務局長 山本幸司

☆☆「切番5000号へのお祝いメッセージ」☆☆
IT版ミニインフォメーションの切番5000号配信にお祝いや激励を頂きました。皆さんありがとうございます。

※気が付かず、記載が漏れた方いましたらご容赦ください。

=====

☆梶原達夫さん
大台！！おめでとうございます！！

☆足立紀彦さん
事務局に感謝感謝です。ありがとうございます。

☆多田光里さん
「おめでとうございます」と
お祝いのスタンプ頂きました！

★すばる星の会：山村様
IT版ミニインフォメーション5000号
おめでとうございます。
毎日お疲れ様です。頭が下がります。
これからも頑張ってください。

=====

事務局

長崎県天文協会会誌「NAS速報240」受領

長崎県天文協会 松本直弥 様から会誌「NAS速報240」が届きましたので皆様に配信いたします、是非ご覧ください。大分と違って、長く定期的に発行を続けてます、継続するって大変ですから本当にすごいですね！！事務局

大分天文協会 山本さま

昨年末には大分の方々と久しぶりにお会いして、たいへん嬉しく思いました。また、NEWアストロ・インフォメーションお送りくださり、ありがとうございました。レスが遅くなり、申し訳ありません。当会では、要望が多くて、いまだに紙での会誌発行を続けています。近号添付しますので、ご覧ください。

長崎県天文協会 松本直弥



会誌受領お礼：福岡星の会様

福岡星の会の豊福様からNEWアストロ・インフォメーション2019.02（NO.106）号を受領したお礼と感想が届きました、ありがたいことです、励みになりますね、編集長殿！！以下は、豊福様が福岡星の会の会員の方々に紹介配信されたメールです。事務局

福岡星の会 会員各位

こんにちは、豊福です。

先日17日は総会・懇親会に参加されたみなさまお疲れさまでした。内容が盛りだくさんで最後は時間が足りない状況になって消化不良の感もありましたが、不足の部分については掲示板やMLで補っていただければと思います。

さて、先日案内を受けたばかりとって思いましたが、本日、大分天のアストロインフォメーション最新版発行の案内が届きました。これだけの量のコンテンツでの毎月発行、ほんとうに大変な努力だろうなあと思います。

いつもながら頭が下がる思いです。ダウンロード（容量23MB）は以下のURLからできます

<https://yahoo.jp/box/A-JIXF>

ので、是非DLして読んでいただきたいと思います。大分天の活動の活発さがよく分かりますが、読んだ感想を豊福宛てメールで送っていただければ、大分天の山本さんにお知らせしますので是非お願ひします。

※大分天の山本さん、いつもいつもありがとうございます。今回、当会も年1回発行の会誌「星盗」131号を発行しました。近日中にお送りしますので、お楽しみにお待ち下さい。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
豊福 隆夫
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

2月の例会で話題になりました、「フィルム時代のレンズはデジタルに使えるか？」の検証レポートです。
 フィルム時代に活躍した名レンズが即、デジタルカメラで満足できる結果を出せないという話はよく聞きますし、事務局も体験しています。このことは事実ですが、昔のレンズの性能が落ちると即断できるわけではありません。フィルムの特性に特化した、撮影対象に適した、設計がされているんですよ？
 ですから、デジタルに求められる（正確には星屋の使うデジタル）性能・仕様とマッチングしていないことの方が根本原因なのでしょうね？それでも、レンズごとに特徴・癖・長短がありますし、デジカメとのマッチングもあると思いますから、一つひとつテストして行くしかないでしょうね・・・！
 阿部さんのテストレポートはそういった面ではとても有効ですし、参考になりますね。

- 注意：以下の点にご注意ください。
- ・あくまでも個人感想と言うこと
 - ・この結果でレンズの良し悪しを決め付けるものではない事
 - ・テスト条件も完璧に揃えられるわけではない事
 - ・このレポートを元にレンズ・メーカーを批判などしないこと。

事務局

20190208配信 No4993

レンズテスト_1 (MF20mmF2.8)

02月例会の議事録に記載されたので、あまり間を置かずに第一報をします。本当は、空の条件の良い時に、星空の露出を揃えたデータで報告しようと思いましたが、取り急ぎ、

☆注意事項

あくまで、各自の見たまま、感じたままの判断にお任せします。本件の取り扱いには注意をお願いします。

1. 共通データ

ボデー：Nikon D810A
 ISO:3200
 PSで解像度だけ、縦2048pixにリサイズ
 ピント合わせを中心のアルデバランで実施

2. レンズ

絞り：F2.8 F4 （ファイル名で判断して下さい）

☆注記

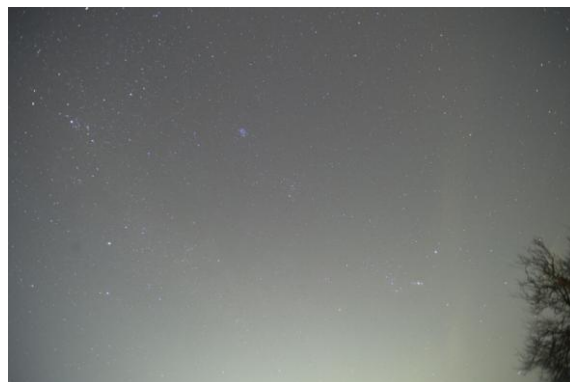
本個体は、一般写真では広角レンズ特有のディストーションが少なく、人工物の直線がへろへろと曲がらず、気持ちの良い直線に表現される良いレンズである事を追記します。

我々、星野写真愛好家は写真ユーザーの中ではマイナーな存在なので、メーカーも星を点に描写するレンズを積極的には供給してくれません。でも、中には星野撮影に向くレンズも存在します。ぜひ、そういうレンズをご存知の方は、情報交換が出来るかと幸いです。

最近ではメーカーが、ローパスフィルターレスやH2αに感度を持つボデーを供給してくれるのは有り難いことです。



F2.8



F4.0

第一弾は (MF20mmF2.8) ですね、私も持っていますが、印象として周辺部の収差は我慢できる範囲と思ってました。阿部さんのテストは、F2.8（開放）と F4.0
 結果は面白いですね！
 F2.8（開放）は周辺のかなり広範囲の星像が伸びて膨らんでですね！
 中心から1/4ほど外れたオリオン座付近の星々もかなり伸びてますから開放で使うのは少し問題でしょうか？
 （流星撮影などは明るさが重要ですから使用可能かな？）
 F4に絞ると、かなり改善しますね！
 このくらい絞れば、人によっては実用範囲に入るかもしれませんね！

事務局

20190208配信 No4994

レンズテスト_2 (MF24mmF2.0)

レンズテスト, 第二報です.

1. 共通データ

ボデー: Nikon D810A

ISO:3200

PSで解像度だけ, 縦2048pixにリサイズ

ピント合わせを中心のアルデバランで実施

2. レンズ

MF24mmF2.0



F2.0



F2.8



F4.0

当時としては、明るい広角レンズでしょうか？
 絞り：F2, F2.8, F4.0の3種類でのテストです。
 F2（開放）の収差は…すさまじいですね！！！！
 まるでカモメが羽を広げたように見えます
 F2.8まで絞ると…少しは改善しますが
 ムクドリが羽を広げたくらいかな？
 F4.0まで絞ると…実用範囲に入った気がします
 星が点になってますね！
 第一回目の(MF20mmF2.8)もF4.0まで絞ると実用範囲でしたが、F4.0がオールドレンズの目安なのでしょうが？このくらいの絞りで実用になるなら、今のデジカメの高感度長時間露出できる赤道儀・画像処理ソフトなど駆使すれば…使えるかもしれませんね！収差の低減と同時にF4.0まで絞ると周辺減光もかなり改善するのでそのメリットも大きいかも？

事務局

20190209配信 No4995

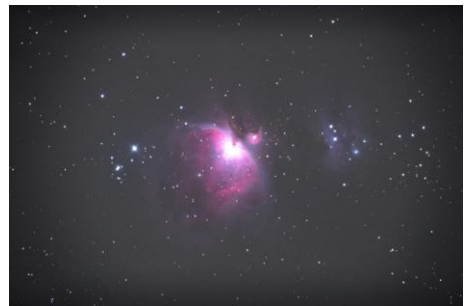
レンズテスト_3 (ライトシュミット25cm)

今夜は、カノープスのタイムラプスをする予定でしたが、豊田から持ってきたLS25の35mmカメラアダプタで、久しぶりの試写を行ってみたくなり、観測所へ出かけました。銀塩時代と同様に、豪快な周辺減光が発生しますが、使えそうです。プローニーの6×9のイメージサークルはあるので、カメラマウントの小径が原因。



データ1：スバルに人工衛星の光跡

ちょうど対角位置に人工衛星が入り、スケアリングの狂いによるピントずれが観測できました。視野端の光跡が2本になっています。つまり、ピンボケで斜鏡の影が見えている。残念な事に、スバルに対して鑑賞写真の構図にしたので、スケアリングの傾きの方向がわかりません。再度、カメラの取付けを、長辺=赤緯にしてやり直します。



データ2：M42

ピントが出ていません。(長辺を赤緯方向にしています)回転ヘリコイドのピッチが細かく、ライブビューで拡大してもピントの山がつかめませんでした。パーティノフマスクを作る必要がありそうです。また、経年変化でヘリコイドのグリスが固くなっているので、シンナーでクリーニングして、シリコンオイルを注油する必要があります。

正確にはレンズではありませんが、永い間冬眠中だった愛機のテストですから大事ですね！ある意味テストの本命ですよ？一刻も早く知りたい気持ちよく分かります！その結果は……
 調整は必要ですが、デジタル仕様でも使えそうということが証明されたようで、本当に良かったですね！周辺減光は、今ではフラット次第で対応できますし星像も結構シャープです？これは期待できそうです？いや期待してますよ！！！！

事務局

特集 阿部 哲也 さん によるレンズテスト③(4.5)

20190211配信 No4998

レンズテスト_4 (MF28mmF2)

レンズテスト, 第四報です。

1. 共通データ

ボデー: Nikon D810A

ISO:3200

PSで解像度を縦2048pixにリサイズ

今回からレベル調整をしています。

当日, 1月7日は薄雲が発生し明るさが異なるので,

空の濃度を星像に影響しない範囲で調整しました。

薄雲がかかって, 輝星の周りにハローが発生していますが,

視野端の収差を確認して下さい。

ピント合わせを中心のアルデバランで実施。

2. レンズ 絞り: F2, F2.8, F4.0

追記: 次回からは, 同一焦点距離で

開放F値の明るい/暗いのデータが続きます。

20-24-28とラインナップ順に名レンズをすべてお持ちなのではないか?

今回の28mmも24mm同様、F2（開放）では鳥が羽を広げたような凄い収差がありますね！

その後、一絞りごとに改善し、

F4.0まで絞るとかなり実用範囲まで改善してますね。

ニコンの広角オールドレンズ、同じ傾向なのがある意味素晴らしいかも？ですね！

星屋が喜ぶ、点像だけがレンズに求められる性能では無いですから

多くの性能の妥協点をどこに置くかが、そのメーカーの

レンズ設計の基本ですから、そこにプレが無い事と

設計通りに製作されていることは流石ニコンと言えるのではないのでしょうか？

事務局



F2.0



F2.8



F4.0

20190212配信 No5002

レンズテスト_5 (MF35mmF1.4 vs F2.8)

レンズテスト, 第五報です。

1. 共通データ

ボデー: Nikon D810A

ISO:3200

PSで解像度を縦2048pixにリサイズ

今回からレベル調整をしています。

当日, 1月7日は薄雲が発生し明るさが異なるので,

空の濃度を星像に影響しない範囲で調整しました。

薄雲がかかって, 輝星の周りにハローが発生していますが,

視野端の収差を確認して下さい。

ピント合わせを中心のアルデバランで実施。

2. レンズ

(MF35mmF1.4 vs F2.8)

3. 寸評

N社はF値の明るい物と、暗いレンズを用意していました。基本、2種類。メインユーザーからの強い要望があった為？？と思います。(重くて大きくても明るい物が/一段暗くても軽くてコンパクトが欲しい)噂では、暗いほうが設計に無理がなくシャープだと言われていました。

まず、MF35mmF1.4についてはF1.4（開放）の収差は…MF24mmF2.0同様すさまじいですね！！！！まるでカモメどころか鷺が羽を広げたように見えますF2.8まで絞ると…かなり改善しますね、この点MF24mmF2.0より良いかな？

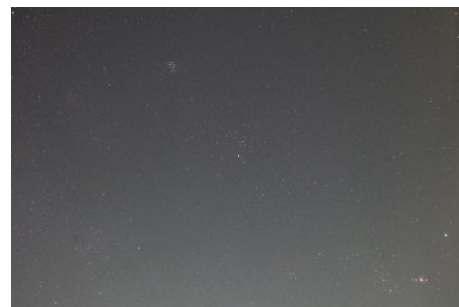
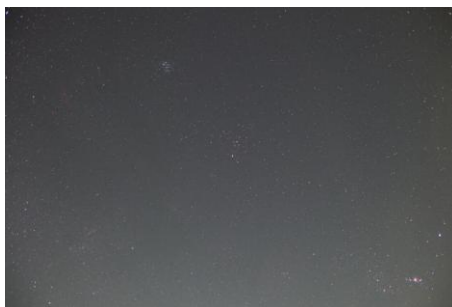
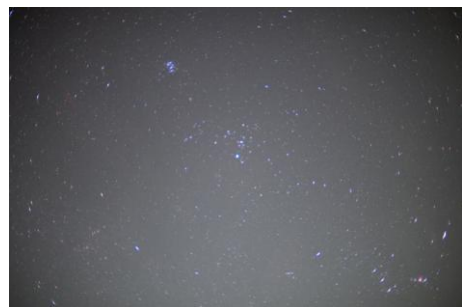
F4.0まで絞ると…ほかのレンズ同様実用範囲に入った気がします星が点になってますね！

次にMF35mmF2.8についてはF2.8（開放）の収差は…他のレンズのように周辺の収差がひどくないですね！流星観測など、甘く手が満出来れば開放でも使えないことないかも？

F4.0まで絞ると…さらに改善するかなと思ったら、意外とそうでもない？これも他のレンズと違った傾向ですね！

個人的好みでは、MF35mmF1.4→2.8かな？流星観測に使いましょう！！！！

事務局



上段 35mm F1.4
左: 開放 中: F2.8 右: F4.0

下段 35mm F2.8
左: 開放 右: F4.0

特集 阿部 哲也 さん によるレンズテスト④(6.7)

20190219配信 No5017

レンズテスト_6 (50mmF1.4)

レンズテスト第6報です。

今回は、星野(星座)撮影で一番使う頻度の高い50mmです。開放値F1.4とF1.2(後で)の比較です。

F1.4は1979年入手。製造は外形から77年頃。

F1.2は2005頃、MFレンズが絶版されるかもしれないので慌てて入手したものです。(天文に使ってきたレンズは、この50mmF1.4、35mmF2.8と105mmF2.5の3本で、他は、絶版を危惧して2005年頃買い漁った物で、星野を写すのは今回が初めてです。)

追加：1985頃撮影した、オリオン座(50mmF1.4(2.8) 103aE水素増感+Rフィルタ)短波長をカットしている分、周辺の星像が良くなっていますが、やはり▲像です。以前は空がきれいだった。実家近くの田んぼで撮影。

1. 共通データ

ボデー：Nikon D810A

ISO:3200

PSで解像度を縦2048pixにリサイズ

レベル調整をしています。

当日、1月7日は薄雲が発生し明るさが異なるので、

空の濃度を星像に影響しない範囲で調整しました。

薄雲がかかって、輝星の周りにハローが発生していますが、

視野端の収差を確認して下さい。

ピント合わせを中心のアルデバランで実施。

50mmF1.4・・・当時としてはF1.8位が普通だったでしょうか？F1.4くらい明るいレンズが欲しかった記憶があります。

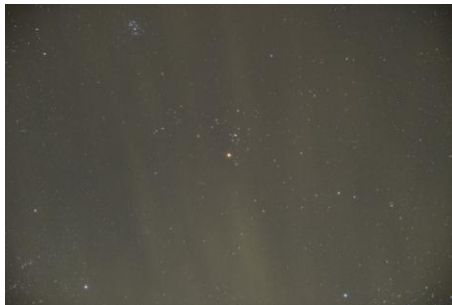
その1.4ですが開放1.4の収差は、なかなか派手ですね、周辺はムクドリくらいの形かな？中心部の星の肥大も大きく、まるでソフトフィルター使用のようですね！ただ、このレンズの特性か？天候や処理の差か？色乗りの良い・・・ぬげの良いレンズのような気がしますね！ニコンらしい色合いは好感持てます！他のレンズ同様、F4まで絞ると十分実用範囲かな？

103aE水素増感+Rフィルタで撮影した、オリオン座付近、懐かしいですね！！当時、エンゼルフィッシュなどがこのくらい写ったら狂喜乱舞したような・・・(笑)しかもカラーで写せる時代が来るとは、そのときは考えもしてませんでした！

事務局



F1.4



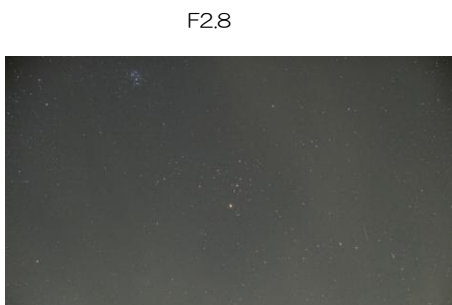
F2.8



F4.0



F1.2



F2.8



F4.0

20190219配信 No5018

レンズテスト_7 (MF50mmF1.2)

レンズテスト、第7報です。

1. 共通データ

ボデー：Nikon D810A

ISO:3200

PSで解像度を縦2048pixにリサイズ

レベル調整をしています。

当日、1月7日は薄雲が発生し明るさが異なるので、

空の濃度を星像に影響しない範囲で調整しました。

薄雲がかかって、輝星の周りにハローが発生していますが、

視野端の収差を確認して下さい。

ピント合わせを中心のアルデバランで実施。

F1.2・・・明るいレンズですね！！

F1.4と比べても一段明るい凄いレンズでした！

写り具合は・・・

開放F1.2の周辺収差は…凄いですね！！

大鷲が羽を広げたようで、すばるが分からないくらいです。

色合いは50mmF1.4と同様で、色濃く抜けは良いようですね！

F2.8で・・・かなり実用範囲かな？あと一歩？

F4では、かなりの秀作かと！

周辺減光も少なく、2.8でも実用範囲の中々良いレンズですね！

欲しくなりました！！！！

事務局

20190305配信 No5045

レンズテスト_8 (MF85mmF1.4)

レンズテスト, 第8報です.

1. 共通データ

撮影 : 3/4~5

ボデー : Nikon D810A

ISO:3200

今回から, PSで解像度を縦2048pixにリサイズのみです.

露出 : 絞り値 F1.4, F2, F2.8, F4に対して,
約 7秒, 15秒, 30秒, 60秒

2. 記

3/4は, 雨上がりで夕方, 遠くの山が良く見えていたので
透明度が良いと判断して, ライトシュミットのスクエアリング
調整に出かけましたが, 撮影データを確認すると, 21時頃から
空が濁ってしまったようです.

テストですから, 先回までの様に, どんよりとした薄雲を通した
撮影では本来の能力が判断しにくいと考え条件の良さげな日に,
あえて調整がてら撮影しました.

今回は, ボートレート・レンズとして多用される85mmです.
各社, 球面収差を微妙に残し, ボケが綺麗で味の有る表現が出来る
物が多い領域です.

被写体は, からす座です. (左が北)

今回は中望遠の85mmですね, コメントにもありますように, フィルム時代は65~90くらいの中望遠がボートレート・レンズとして重用され, 各社明るい良いレンズが多くありましたね!!!
開放F1.4は流石に多少の周辺収差はありますが, 拡大しなければ十分開放でも見れますね. 流石です! F2.8まで絞れば十分ではないでしょうか?

事務局



F1.4



F2.8

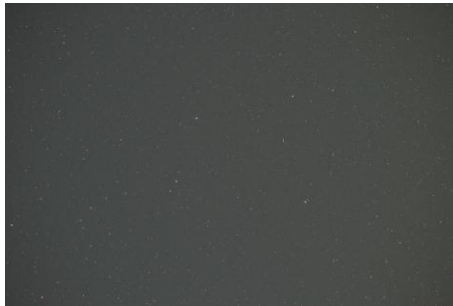


F4.0

F2.0

F2.8

F4.0



20190305配信 No5046

レンズテスト_9 (MF85mmF2)

レンズテスト, 第9報です.

1. 共通データ

撮影 : 3/4~5

ボデー : Nikon D810A

ISO:3200

今回から, PSで解像度を縦2048pixにリサイズのみです.

露出 : 絞り値 F1.4, F2, F2.8, F4に対して,
約 7秒, 15秒, 30秒, 60秒

2. 記

同じ焦点距離の開放値がF2のもので, 50mm以下のレンズは,
F4まで絞らないと星野に使えるように有りませんでした, 焦点距離が
長くなると, F2.8で鑑賞に耐えそうで安心しましたが, できれば, 広角
でF2.8が使えれば流星観測に常用出来るのですが残念です.

ただ, 今後報告する予定のレンズで, 輝星の周りが出るハローが,
写野中心で同心円でない場合があり, 多数枚あるレンズの軸出しが取
れていないのだと思います. 海外のメーカーでは, これを行っている
会社があるそうで, N社が完了したら, ご報告します.

被写体は, からす座です.

今回も前回と同じく中望遠の85mmですね,
F値が1.4→2.0ですね!
阿部さんのコメントにもありますように
中望遠クラスになると, 開放は別にして
F2.8まで絞れば十分ではないでしょうか?

とても使いやすい良いレンズですね!!!

広角系のレンズではF4.以下は厳しかったですが
流星写真など明るさが物言う観測の場合は
周囲の収差は目をつぶるしかない時代だったですね!

事務局

20190306配信 No5047

レンズテスト_10 (MF105mmF2.5)

レンズテスト, 第10報です。

後, 3本でMFレンズは完了しますので, もう少しお付き合い下さい。
しかし, 外はひどい雨音ですネ。

1. 共通データ

撮影 : 3/4~5

ボデー : Nikon D810A

ISO:3200

PSで解像度を縦2048pixにリサイズのみです。

露出 : 絞り値 F1.4, F2, F2.8, F4に対して,
約 7秒, 15秒, 30秒, 60秒

2. 記

78年頃入手し, 星野, 一般写真に使って来ましたが, 一般写真では
いまいちパツとせず, 私の評価は低かったレンズです。

が, 星野は開放から良い結果, 星野と一般写真が両立しない
良い例だと思えます。経時劣化で輝星が大きくなっていますが,
その分星座がわかりやすいと思えます。

被写体は, 空の状態から ”ししの大鎌”

今回は短望遠105mmですね, 開放F値はちょっと暗めの2.5ですね!
阿部さんのコメントでは
一般撮影としては評価の低かったレンズのようですが
星用(点像)では意外と癖のないレンズのようですね。
私も同感です。開放2.5でも十分使えますね, いや十分かも?!
事務局



F2.5

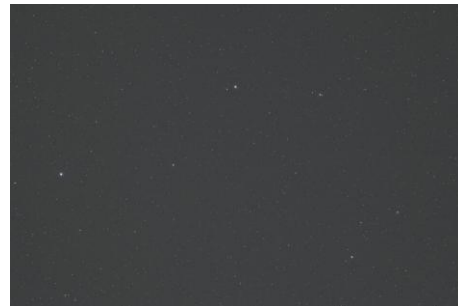
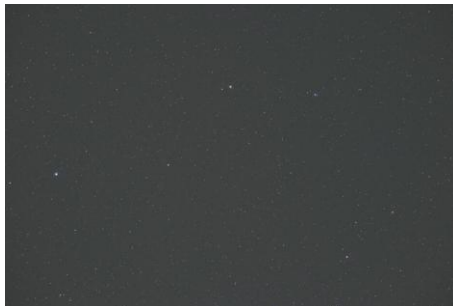
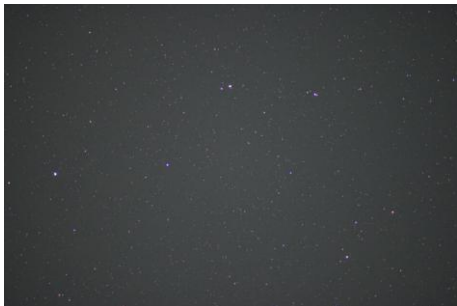


F4.0

F1.8

F2.8

F4.0



20190306配信 No5048

レンズテスト_11 (MF105mmF1.8)

レンズテスト, 第11報です。

1. 共通データ

撮影 : 3/4~5

ボデー : Nikon D810A

ISO:3200

PSで解像度を縦2048pixにリサイズのみです。

露出 : 絞り値 F1.4, F2, F2.8, F4に対して,
約 7秒, 15秒, 30秒, 60秒

2. 記

被写体は, 空の状態から ”ししの大鎌”

レンズテスト_10と同じ短望遠105mmですが, 開放F値は
ちょっと明るめの1.8ですね!
明るくて便利そうですが, 星の色にじみは開放1.8ではちょっと大
き目ですね, F2.8でほぼ気にならなくなりますが結果的にはレンズテ
スト_10と同じかな? F4に絞った時の星のひげ(?): 絞りの影響
かな?が独特ですね!
事務局

特集 阿部 哲也 さん によるレンズテスト⑦(12.13)

20190307配信 No5052

レンズテスト_12 (MF135mmF2)

レンズテスト, 第12報です。

1. 共通データ

撮影 : 3/4~5

ボデー : Nikon D810A

ISO:3200

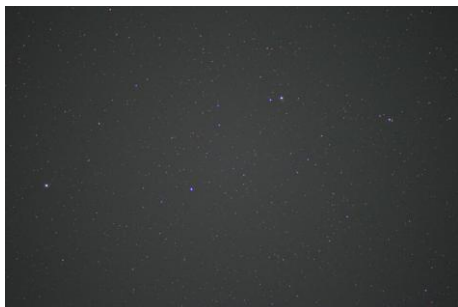
PSで解像度を縦2048pixにリサイズのみです。

露出 : 絞り値 F1.4, F2, F2.8, F4に対して,
約 7秒, 15秒, 30秒, 60秒

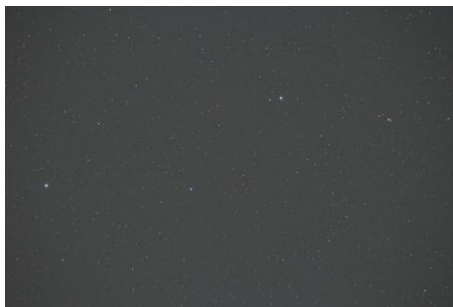
2. 記

F4まで絞っても周辺減光がわかります。
被写体は、空の状態から ”ししの大鎌”

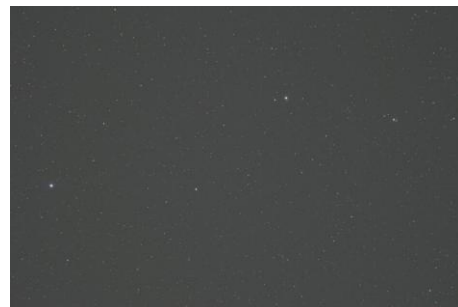
レンズテストも望遠域に入ってきました！今回は135mmですが、開放F値は明るめの2.0ですね！
大昔、レンズは50mmの標準→135mm望遠→28mm広角→200mm望遠の順番で買うのが定番だったような（個人的見解）！定番135mmは各社秀逸品が多い気がします！F4まで絞っても周辺減光が・・・とコメントがありますが、マウントの問題もあるし、今ではフラットで処理するしかないのかもしれない！
星像は開放F2でもますます、F2.8でかなり良いかと！！！！
事務局



F2.0



F2.8



F4.0

20190307配信 No5053

レンズテスト_13 (MF180mmF2.8)

レンズテスト, 第13報です。

2月の例会でお約束した件、マニュアル・フォーカス・レンズの最終データです。

1. 共通データ

撮影 : 3/4~5

ボデー : Nikon D810A

ISO:3200

PSで解像度を縦2048pixにリサイズのみです。

露出 : 絞り値 F1.4, F2, F2.8, F4に対して,
約 7秒, 15秒, 30秒, 60秒

2. 記

200mmF4より1段明るく、200mmに近いので、銀塩時代 憧れのレンズでした。お持ちの方が多いと思います。これまでの結果からご察しのように、基本F4まで絞る必要があります。最新のレンズは持っていませんが、2000年以後のAFもF2.8より開くと中心に向かって短い矢印状のサジタルコマ収差が、多発します。(非球面を使っているのに、鳥の羽の様にボンヤリとは広がっていませんが、観測データに付録で、開放、未処理データを添付するように心がけます。)

最後に、生産中止になる前に入手したいと思っていたNoct Nikkor 58mm F1.2は持ち合わせていません。精密非球面レンズを採用し、サジタルコマの発生を抑え、夜景、天体向けと謳っていましたが、お持ちの方、是非、撮影結果を投稿して下さい。

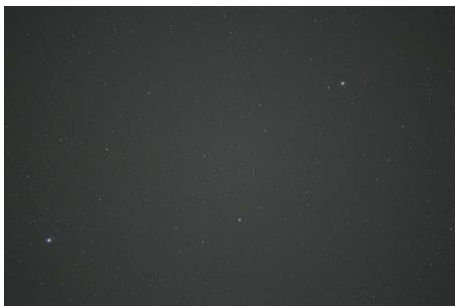
レンズテストも13回目、いよいよラスト！
今回は200mmとなりましたね、ご苦労さまです！
F4まで絞ると十分デジタルでも使えますね！！！！
大事に使ってください！！！！

大昔からやられている方は、阿部さんのテストを参考に防湿庫で冬眠しているレンズが合ったらぜひ試してみたらいかがでしょうか？

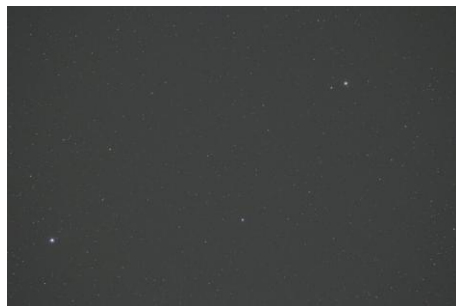
ところで、Noct Nikkor 58mm F1.2は有名なレンズですがお持ちでないのですか？
だれか持っていたら・・・テスト結果を見たいですね！

ちなみに、ネットで見たら295,000円で中古がありましたよ！！(´▽`))ケラケラ

事務局



F2.8



F4.0

20190212配信 No5004 山本 幸司

2019.02.12 岩本彗星 (C/2018 Y1)

夜半過ぎから急速に天候が回復したので近場で最接近の岩本彗星を楽しみました。最接近前後は彗星の見かけの動きは大変大きく1日に \approx 7度も動くそうです。この画像は、彗星核を基準としてスタックしていますので恒星が線を引いて写っています、彗星の動きの速さが分かります。バタバタでしたので・・・と言うのを言い訳に赤道儀や20センチ反射を持ち出さず、JILVAに135mmレンズのみのお手軽撮影が最近多いな！(‘艸`)



日時: 2019.02.12 01:51~02:51
 撮影地: 大分市松岡付近
 機材: JILVA-170 (ノータッチガイド)
 Nikon D810A
 Apo-Sonnar T* 2/135 ZF.2 (F2.5)
 ISO 3200 露出 58.0sec×60枚
 dark5/flat5
 DSS (64bitVer.4.1.1 Comet Stacking)
 PhotoshopCS2・S I

20190214配信 No5008 阿部 哲也

今朝 (2/14) の岩本彗星

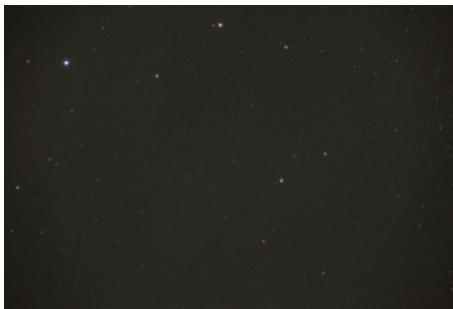


20190225配信 No5032 山本 幸司

2019.02.24 C/2018Y1岩本彗星

2月末から3月初めに、岩本彗星がぎょしゃ座を横切るという情報を橋本氏から教えていただきました。ぎょしゃ座には勾玉星雲などの赤い散光星雲や星団が数多くある星の玉手箱と言えるような宙域です。そこにエメラルドグリーンの彗星が加わるのですから、色の対比が美しいこと間違いなし！楽しみです。週間予報では春先の天候が予想されますので保険の意味で少し早いですが日曜の夜に出撃しました。(笑)

夜空の状態が悪く(風の強風も)イライラしていましたが、PM、黄砂、薄雲がある中、月が沈むのを見計らって強引に観測に出かけました。肉眼で3等星位しか見えず、時折、薄雲が発生し、スタックなしのワンショットです。データは、長辺方向が赤緯です。



1. しし座頭部付近の岩本彗星
 20190214 2:12
 Nikon D810A ISO:3200
 AF-S 85mm F1.4D(2.8)
 Time:20sec



2. 岩本彗星
 20190214 2:03
 Nikon D5300 ISO:5000
 日本特殊光学 LS25cm F3.4
 Time:30sec

仕事の都合で時間が遅くなって高度が低くなり、30度以下はPM2.5の影響か霞んで透明度はいまいちでした。それ以上にjpgのみで撮影してしまうというボカをしてしまいました・涙荒れた画像ですが、玉手箱の片りんは写せたようです。今週末晴れたら皆さん是非狙ってください！！

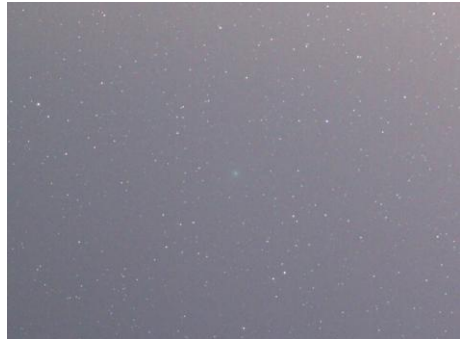


日時: 2019.02.24 22:45~23:03
 撮影地: 大分市香りの森付近
 機材: JILVA-170 (ノータッチガイド)
 Nikon D810A
 Apo-Sonnar T* 2/135 ZF.2 (F2.5)
 ISO 3200 JPG 露出 117.0sec×10枚 (計20分)
 DSS (64bitVer.4.1.1 dark5/flat5)
 PhotoshopCS2・S I

20190215配信 No5009 川端 孝幸

岩本彗星 (C/2018 Y1)

かに座近傍通過中、熊本市内から



2019-02-15, 00:43:25 (JST)
 EF70-200mm(70mm) F2.8 開放
 EOS700D (HKIF) ISO3200 10s×10 (LPR-N)
 トリミング

20190225配信 No5030 太田 輝章

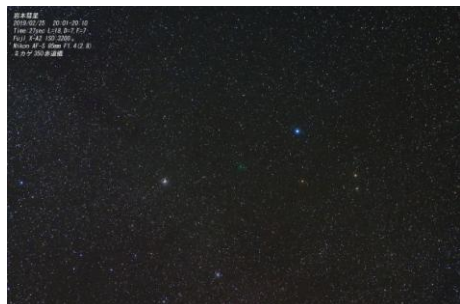
2/24夜の岩本彗星

久しぶりに月の無い晴れだったので岩本さんを撮ってみました。20:30頃には完全に天頂に来て鏡筒がぶつかりそうになったので終了しました。19:26に人工衛星が彗星を南北に貫いたので記念に添付します。また、8枚コンボジットは星と彗星を別々に処理したものをその時刻の位置に合成してみました。

20190228配信 No5038 阿部 哲也

2/25,26日の岩本彗星

25日は、ライトシュミットの画像が、ソフトだったので、補正板に霜が露が付いたか？とそっとティッシュペーパーで拭くと、龍角散の粉のような物が、多分花粉でしょう。寒くて鼻水が出るのかと思いましたが、、26日はアルコールと脱脂綿を持参し、昼と夜の二往復をしました。今日の雨で、空気中の浮遊物が洗い流される事を願います。



20190209配信 No4996

SAO合成の練習画像2点

また寒くなりましたね、
2017年にSAOフィルターで撮影した画像で、
当時合成がうまくいかず、放り投げていた画像を再
度処理してみました。一寸どきつかも知れませ
んが・・・



IC 1805 & Mel15
30cmF6 RD F4.8
SII 15分X6 H α 10分X8 OIII 15分X6
2017年9月28日～30日撮影



クリスマスツリー&コーン星雲
30cmF6 RD F4.8
SII 15分X4 H α 15分X8 OIII 15分X4
2017年2月2日撮影

20190222配信 No5024

M81&82

現在日田では豆田町と隈町を中心にお雛様祭りを
行なっています(3月31日まで)こちらへお越しの際
は是非おひなさまめぐりを楽しんでください。

先日撮影した銀河、M81&82の写真を送ります。
いろいろ処理方法を試していますが、処理してい
るとだんだん色彩感覚がマヒしてしまい悲惨な画像に
なってしまう。

81も82も良い出来ではありませんがFBに投稿し
たものより少しだけ手を加えています。
M81はL画像をHDR処理してからLRGB合成したの
で少しだけ中心部の模様が出てきました。



20190211配信 No5000

沈むM31と流星

2月の新月期に入ったら、あれを撮ってこれを
撮ってと期待に胸をくらませていたのですが、晴れ
ませんね。数年前の2月の連休はくじゅうで満天の
星に包まれたことが懐かしく思い出されます。
最近では1/3の夜にくじゅうで満天の星空に包まれ
ましたっけ。未報告画像があったので報告いたしま
す。地平線すれすれのアンドロメダも珍しいで
しょ??流星は方角的にしぶんぎ群か?と思えなく
もないですが、微妙です。

2019.01/04 00:35JST 小田の池レストハウスにて
Sigma 20mm F1.4(F1.8にて撮影)
Canon EOS Kiss X7i(II) ISO6400 10秒
固定撮影

(って、10秒でカリフォルニア星雲って写るんですね・笑)

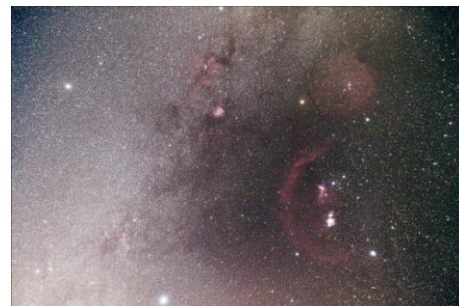


20190212配信 No5005

冬の大三角

昨日に引き続き、報告を忘れていた画像です。
1/3夜、小田の池レストハウスでの冬の大三角です。
この画角はこれまで、固定撮影や、追尾を行っても
3~4枚程度の撮影であったり、あるいはオールド
オールドレンズ(30年以上前のレンズ)
で、マウントも一致しないためサードパーティの
アダプターを使用し片ボケを起こしていたり、と
満足に撮影できていませんでした。せっかくな
らうに行っただけで、ここは思い切って多数枚撮影を
とがばってってみました。幸い無風に近かったので
ナトロッカーでも追尾できましたが、揺れに弱い
ので、Sigma20mmではなくパンケーキレンズの
Canon EF-S 24mm F2.8を選びました。フラ
ットなしなので、暗い部分は本当に星が少ないのは
なほ疑問ではありますが、夏の天の川と違って冬
の刺すような寒さを感じる天の川に処理できたの
は??と思います。(当初FBに途中経過をアップ
した際はほとんど強調してみれば?とアドバイスも
らいましたが、この辺が自分の限界のようです・笑)

2019.01/03 22:19JST 小田の池レストハウス駐車場
Canon EF-S 24mm F2.8(F3.5で撮影)
Canon EOS Kiss X7i(II) ISO3200 120秒×12(24分)
SLIK UB000 + nano.tracker(第一世代)
DSS(DOFDF0B0) PSCS2 S18 NeatImage

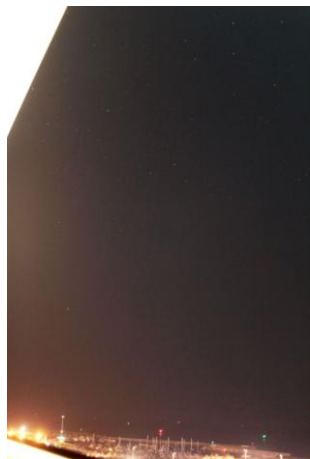


20190303配信 No5042

沖縄出張の報告

仕事で・・・本当に仕事ですよ!、とにかく沖縄
に1泊2日の出張をしてきました。春の沖縄と言え
ば! そう、あの星座が見えるはずですよ。シミュレ
ーションはばっちり、那覇市の光の影響を受けないよ
うに学会会場からは離れますが自分の出番が13時か
らなのをいいことに糸満市に宿をとりました。なの
に・・・あまりに霞んだ空と雲の襲来。ホテル到着
時にあまりに高空に見えるカノープスに心躍ったの
ですが、それでも3時頃から薄雲を通して星が見え
るようになり、あんなに苦悶したガクルックスを肉
眼で確認、みなみじゅうじ全体を確認したかったの
は叶いませんでしたがケンタウルス座のアルファ
星・ベータ星はかろうじて写すことができました。
(アルファ星はかろうじて肉眼でも見えました)

協会員活動報告 (藤吉 健児)



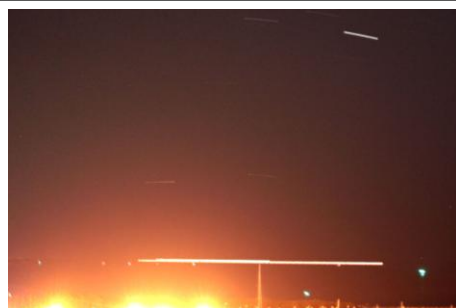
01-01 あまりに高空のカノープス
ISO1600 4秒
2019.03/01 20:32



01-02 あまりに高空のガクルックス
ISO3200 5秒×31Fr
2019.03/02 03:22



01-03 ケンタウルス座アルファ・ベータ
ISO3200 5秒×100Fr
2019.03/02 04:15



01-04 03のトリミング

Canon EF-S 24mmF2.8(絞り開放)
Canon EOS Kiss X4(normal)
沖縄県糸満市 某ホテル7階客室ベランダより撮影

協会員活動報告 (山本 幸司)

20190212配信 No5003

2019.02.04

ぎょしゃ座南部の星雲・星団

改めて振り返ると、今年初の香りの森出撃でした。夜半までは晴れる予報でしたので薄明終了後すぐに撮影に入れるように出撃しましたが、途中から雲が出てしまいました。諦めきれずに粘っていたら21時半くらいから雲が切れてきて何とPM2.5のため透明度が悪くなったようです。ぎょしゃ座南部は赤い散光星雲と星団の宝庫ですね！



日 時：2019.02.02 21:43~23:27
撮影地：大分市香りの森付近
機 材：JILVA-170 (ノータッチガイド)
Nikon D810A
Apo-Sonnar T* 2/135 ZF.2 (F2.5) 270mm相当
ISO 3200 露出 177.0sec×35枚 (計103分)
DSS (64bitVer.4.1.1×Drizzleコンボット
dark8/flat11)
Autosave(32Bit)処理 PhotoshopCS2・S I

20190212配信 No5003

2019.02.13

火星・天王星の接近 (拡大)

火星と天王星が接近していますが2/13が最も近づいて見えるそうです。1200mmドブリニアン直焦点でちょうど両者が収まる程度の接近でした。



日 時：2019.02.13 20:15:46
撮影地：大分市松岡付近
機 材：Nikon D810A/DOB GOTO 10
f=1200mm直焦点
ノータッチガイド ISO:6400 露出:3.0sec
PhotoshopCS2

2019.02.13

火星・天王星の接近 (固定)

画面いっぱい拡大すると近づいている雰囲気がないので、50mmで固定撮影してみました。左のくじら座の頭部分と比べると両者が接近して見えていることが分かると思います。望遠鏡で天王星の青色が良く見えないかな?PMかな?と思いましたが、固定撮影してみると薄雲があったのが分かりました。



日 時：2019.02.13 20:29
撮影地：大分市松岡付近
機 材：FUJIFILM X-T1 ISO 1600 15sec
Zoom-Nikkor*ED 50~300mmF=4.5
(f=50mm F=4.5)
固定撮影 PhotoshopCS2

20190218配信 No5015

2019.02.18 金星・土星の接近星景

2/18夜、金星と土星が接近します。明朝は天気が悪そうなので2/18早朝に、楽しみました。さそり座のアンタレスから木星・金星・土星と豪華な共演が今年は楽しみです！しばらくは見れますので天気の良い早朝早起きすることがあったらお楽しみください。息をのむような美しさですよ！





日時: 2019.02.18 05:13
撮影地: 大分市松岡付近
機材: FUJIFILM X-T1XF18-55mmF2.8-4 (f=18 F=2.8)

ISO 800 10sec
固定撮影 PhotoshopCS2
撮影: 山本 幸司(大分天文協会)
音楽: Spring walk
著作者: 秋山裕和

YouTube見れます。
「2019.02.18 金星・土星の接近星景」
<https://youtube/Nk1tkyzCz1o>

20190223配信 No5027

2019.02.23 朝の惑星たち

朝いちばんの飛行機に乗る家人を送っていった帰り、曇天だった東空に晴れ間が見えてきたので何時もの場所に寄ってみましたら、木星・土星・金星の3惑星が、日の出前の東天に見えてきました！



2019.02.23 居待月 (いまちづき)

月齢18.0の月です、満月過ぎると、月の出が遅くなってきて、立って待つにはつらいので「座って月の出を待つ月」という意味で付けられた「居待月」という名称だそうです。昔の人はどれだけ月が好きだったんでしょうね！

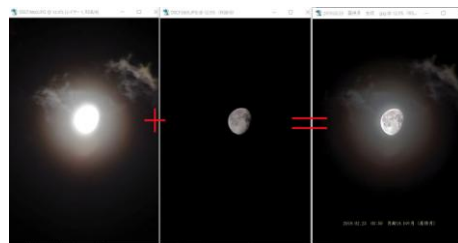
この写真は、夕方過ぎでなく、2/23夜明け前の西空の月です。200mm望遠レンズで撮影していますが、そのまま撮影すると月の模様が写る露出では背景の雲などは映らず、雲が写る露出では月が真っ白で露出オーバー！になるので、それぞれに合った露出で撮影して加重平均合成と言う合成を行っています。突き詰めれば合成写真ですが、雲間から顔をのぞかせた月の雰囲気、人の目で見たように写せてると思います。

今のカメラでも特殊なカメラを除いて1枚撮りではこのような明るさの差が大きな対象を1枚で撮ることはできません。人間の目は、カメラよりもはるかに優秀な面も多いです。写真にとる楽しみも良いですが、肉眼で楽しむことも忘れないようにしましょう！

ちなみに合成は2枚目のような感じです。加算平均でなく加重平均で平均する割合を調整して良い割合を選んでます。



2019.02.23 05:50 月齢18.0の月 (居待月)



20190301配信 No5040

Old lens試写

冬のダイヤモンド・カノーパス

旭光学工業株式会社(現リコーイメージング株式会社:PENTAX)の1967年発売A Fish-eye-TAKUMAR 17mm/F4(M42)を20年ぶりに復活させました。中古で購入してフィルムカメラのPENTAX・SPなどで使っていましたが、デジタルになりPENTAX以外のカメラに移ったので防湿庫で冬眠してもらってました。今回冬眠から目覚めてNikon機で活躍して欲しいので、マウントアダプターを購入しました。Nikonのfマウントではバックフォーカスの関係で通常のリングでは対応できず、やむを得ず補正レンズ付きのアダプターとなり、このレンズの質次第で写りに影響

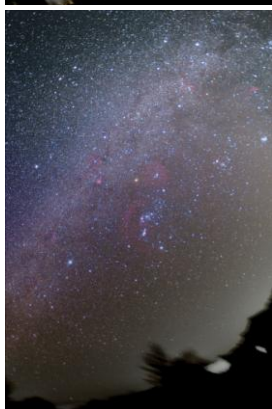
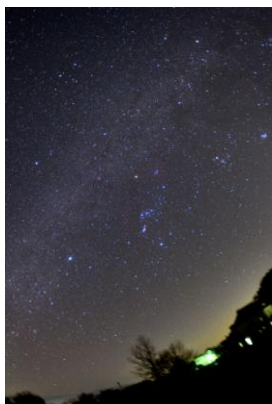
心配ですが、実践で使用して∞のピントもますますのようので安心しました。対角魚眼の180度 Fish-eyeですが焦点距離は17mmと意外と長く、写野は広くは無いですが広角レンズとして使いやすいもあります。F値が開放で4.0と暗いので固定などでは今一歩ですが、光害で星の数が少ない場合とか、赤道儀で十部露出を掛けられるときは活躍できそうです。

冬のダイヤモンドがちょうど入る写野ですので西に傾いて地上も入りませんが撮影してみました。

1枚目は露出2分の1枚もの

2枚目は10枚スタックです。

カノーパスも写り、復活オールドレンズに満足です。



日時: 2019.02.24 21:40~
撮影地: 大分市香りの森付近
機材: JILVA-170 (ノータッチガイド)
Nikon D810A
Asahi Opt. Fish-eye-TAKUMAR
17mm/F4→4.8(M42)
ISO 3200?JPG 露出 88.0sec
PhotoshopCS2・S I

20190219配信 No5020

2/19スーパームーン

2/19ちょうどスーパームーンの時刻の画像ですちなみに1473年2月19日はコペルニクス誕生日だそうです！

19日の18時3分ごろ、月が地球に約35.7万kmまで最接近するスーパームーンとなりました。夕刻前まで雨の大分市でしたが急速に晴れ間が広がり、スーパームーンの時刻に雲間から大きな月が見えてきました。300mmレンズ手持ちで、感度を替えた明暗2枚画像を加重平均合成手前の枝がぶれてますがご愛嬌！



日時: 2019.02.19 18:03
撮影地: 大分市松岡付近
機材: FUJIFILM X-T1 ISO 1600・800 1/125
Zoom-Nikkor*ED 50~300mmF=4.5
(f=300mm F=4.5)
手持撮影2枚画像をS I .8で加重平均合成

20190213配信 No5007

改造EM200のテストを兼ねて
MT160でお月さん(^^)

久々の撮影になりました。1月は体調不良でほとんど望遠鏡覗けませんでした。今夜はキレイな月でした。、、、裏側にはお隣の国の探査機がいるのですね、、、。なんか不安?不穏??



MT160+ASI224MC 5枚モザイク処理

20190218配信 No5013

10枚モザイクの月

晴れても春霞なのかPMなのか(;▽;)それでも天頂の月はなんとか撮らせてくれます。改造EM200の調整の合間に(^^)モニター上でも、ほんやり月を眺めるのも一興です。

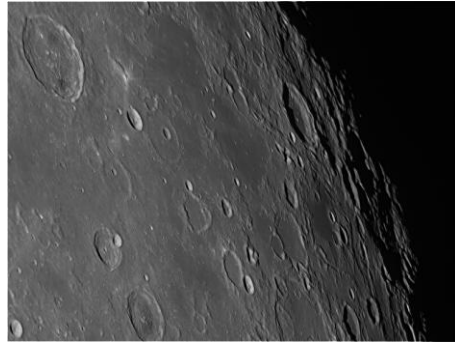


MT160+ASI224MC 10枚モザイク処理

20190225配信 No5031

アトラスからメッセラ

アトラス (左上:アトラス谷が内部に見えます) からメッセラ (右下:壁平原) 中央左上が「時の湖」右下が「希望の湖」 (月の魔術にかかりそう(^^)) 気づきませんでした。アトラスの右に小さいですが光状を持つクレーターが。小さいですがしっかりみえます。



2018-10-26の未掲載画像から
C14+R760nm+ASI224MC

20190226配信 No5034

エスキモー星雲

ビルの合間から(^^)それなりに写るもんですね。エスキモー星雲



MT160直焦+ASI224MC

20190226配信 No5035

ハッブルの変光星雲

街中空クルージング第二弾(^^)こちらも結構分かりますね。昨夜は光害はもちろん、春霞 (PM?) も酷かったのですが、モニター上でも見えました。

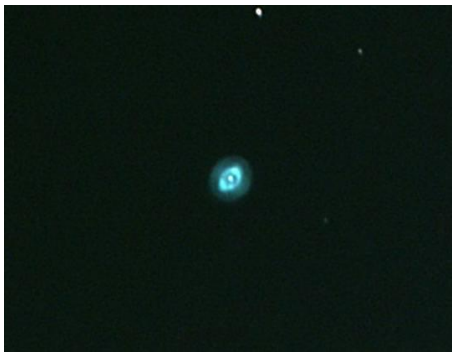


MT160直焦+ASI224MC

20190301配信 No5039

街中空クルージング第三・四弾!

NGC3242 惑星状星雲 (木星状星雲)
光度 9.0等 視直径 20.8'
街中空クルージング第三弾(^^)光害があっても結構写るもんだなと気を良くしてます。さらに今晩は雨後の夜空で水蒸気も多いようです。



MT160直焦+ASI224MC

NGC3115 銀河 (スピンドル銀河)

光度 9.2等 視直径 8.3'
街中空クルージング第四弾! CMOSカメラとの相性悪い系外星雲ですが、これ小さいのに結構碗が見えます。超新星検索の真似事できるかも(^^)



MT160直焦+ASI224MC

20190305配信 No5044

今朝 (3/5) の木星

2019年シーズン、ようやくスタートです(^^) 夕方雨が降った後、天候回復しましたが冬型に。気流はさすがに厳しいですね。星が暴れます。

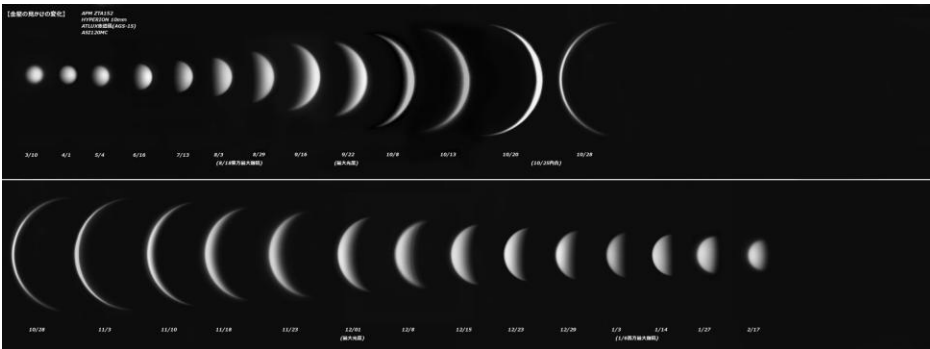


2019-03-05 06.09.52s (JTS)
22cmNewtnian+Or18mm+IRcut+ADC+ASI224MC
ASI3+Regstax6処理

協会員活動報告 (太田 輝章)

20190217配信 No5012

金星継続観測情報



本日までの金星です。横長になりすぎるので2段にしてみました。

20190302配信 No5041

3/2の木星

前回2/17がシーズン初撮りでしたが全くダメでした。今回は少しシーイングが良かったようです。大赤斑がいなくて淋しいですが、ある程度の模様は見えています。



2019-3-2 6:10
APM ZTA152
HYPERION 40mm
ATLIX赤外線 (AGS-15)
ASI120MC
Gain=100 33msec SoftGain=1.5
1000フレームコンポジット

協会員活動報告 (奈須 栄一)

20190218配信 No5014

今朝19年2月18日

良い天気ですが霞んでいましたね。
金星も輝きが鈍かった・・・



協会員活動報告 (安元 治義)

20190220配信 No5022

嵐の大洋とご存じ虹の入江

17日の月から虹の入江からマリウス丘までのカットを

c9.25 ASI290MC IR760
共に3000フレーム20%スタック 2コマモザイク



20190220配信 No5023

雲の海と湿りの海 ガッセンディ付近

雲の海に埋もれたゴーストクレータがたくさん見えますね

c9.25 ASI290MC IR760
河内天体観測室 (自宅) 大分県豊後高田市



協会員活動報告 (中野 雄吉)

20190219配信 No5020

2/19スーパームーン

風邪をひいて体調わるいですが
家の窓から上がった月を見てたら
我慢できなくて久しぶり撮影しました。



五藤10センチ屈折直接焦点 キヤノンM6
Tv1/2500 ISO 800 画像処理無し1枚撮り

協会員活動報告 (足立 紀彦)

20190225配信 No5033

Sh2-240=Simeis 147 (ぎょしゃ座
~牡牛座) 撮影成功!!

やっとSh2-240 (Simeis 147) の撮影ができました。

昨夜は久々の快晴。夕方はPM2.5によるかすみも見られたが、夜が更けるにつれてそのもやもとれて透明度は抜群に。早速、Sh2-240(Simesis147)に挑戦してみました。FS60CBでは画角に収まりきれませんでした。135mmではちょうど収まりました。今後は同じアングルでS2.O3を二晩くらいかけて撮って合成してみます。カメラアングルを間違えました。



撮影日時=2019年2月24日 22:06~23:58
撮影機材=Sigma135mmF1.8FArt +
ZWOASI1600MM-Cool
+ASTRONOMIK Ha 12nm Narrow Band Filter
CaptureSoft=MaxImDL5
露出=Gain300 Ha : 600sec x 10frames =100min
TargetTemp=-25℃
架台=EQ6 pro + PHD2Guide (Starlight Xpress
Lodestar + D6cm,F1300mm)
処理=DSS、PhotoShopCC2017、Stella Image8
撮影地=大分県臼杵市 高山天体観測所

協会員活動報告 (吉野 圭司)

20190306配信 No5049

マルカリアンチェーン

雨が上がり快晴の予報でしたので、香りの森へ出撃してきましたが、雨が降った後で水蒸気が多いせい
か、透明度は悪く夜露が凄かったです。春は銀河の季節ということで、マルカリアンチェーンを撮ってみました。



2019/3/5 0:36~1:00
Takahashi ε-130d, IEQ45 pro, D810a
DSS, PSCC, Flat

20190306配信 No5050

ばら星雲

オリオンも西に傾いてきたので、
この星雲を撮るのも今年最後かな？



日時: 2019/3/4 23:00
場所: 香りの森
機材: D810a, IEQ45 PRO, ε-130d
撮影: ISO3200, 150秒x20, DSS, PS_CC



アストロインフォメーションバックナンバーご案内

大分天文協会の会報として、ニューアストロインフォメーションを2018年03月から発行を再開しています。今回の8月号まで、毎月1回発行しています。それぞれYahoo!ボックスからダウンロードが可能です。次のアドレス(リンク)から目的に応じて好きな方をダウンロードしてください(左上の青い矢印のダウンロードをクリック)

YAHOO!ボックス



年	月	号	A4版	HQ版
2017	11	11	94.96 https://yahoo.jp/box/eAMtE1	https://yahoo.jp/box/BUF--H
		12	94.97 https://yahoo.jp/box/WSgTHB	https://yahoo.jp/box/JzZ6eY
2018	1	1	94.98 https://yahoo.jp/box/dullRu	https://yahoo.jp/box/VQkWOH
		2	94.99 https://yahoo.jp/box/sw8gKq	https://yahoo.jp/box/6reamQ
		3	95 https://yahoo.jp/box/BkGw61	https://yahoo.jp/box/YEAULE
		4	96 https://yahoo.jp/box/IP2hCW	https://yahoo.jp/box/cl81_m
		5	97 https://yahoo.jp/box/j6CZ3e	https://yahoo.jp/box/rHMdVN
		6	98 https://yahoo.jp/box/ekTjsf	https://yahoo.jp/box/9x5buk
		7	99 https://yahoo.jp/box/tlR2Aw	https://yahoo.jp/box/f-wwox
		8	100 https://yahoo.jp/box/QRKehN	https://yahoo.jp/box/0lqrbo
		9	101 https://yahoo.jp/box/J_GntK	https://yahoo.jp/box/bpo2PS
		10	102 https://yahoo.jp/box/agRqfw	https://yahoo.jp/box/d9XaBz
		11	103 https://yahoo.jp/box/eaqH6o	https://yahoo.jp/box/nLBBMz
2019	1	12	104 https://yahoo.jp/box/kAY91D	https://yahoo.jp/box/gMw4LM
		1	105 https://yahoo.jp/box/FqJ4_E	https://yahoo.jp/box/PNCCrp
		2	106 https://yahoo.jp/box/l1dg3r	https://yahoo.jp/box/A-JIXF

一般的閲覧・一般印刷機による印刷用はA4版でどうぞ。容量なども抑え気味です。

2018.11(103)号はA4版表紙がHQの表示になっていますが誤植です。お許しを!

タブレットPCなどを使って会誌を電子書籍として読むスタイル(指を使った拡大操作が可能)に対応できるように紙面サイズを非常に大きくし、掲載画像のクオリティもあげています。反面容量は大きくなっています。高性能の印刷機の場合はこちらのデータをお使いください。

「 NEWアストロ・インフォメーション印刷時のエラーについて 」

アストロインフォメーション Yahoo!ボックスHQ版の印刷が上手くいかないという症状が出る場合があることがわかりました。(対策)

- OSがWindows7のPCでは、AcrobatReaderDCをWin7の互換モードで起動すると問題なく印刷できます。
- 印刷はA4版PDFで行う
- HQ版で印刷する場合は以下の設定とする(添付画像参照)
 - ①プリントボタンをクリック
 - ②印刷の詳細設定をクリック
 - ③詳細設定の「画像として印刷」にチェックを入れる
 - ④OKをクリック
 - ⑤印刷をクリックして印刷スタート
 ※印刷スタートする前にはプロパティから印刷の品質設定をしておくこと!



インフォメーション用報告画像の容量変更のお知らせ

IT版ミニインフォメーションの1通当たりの添付画像容量は2Mを目安にしてほしいとお願いしてきました。これは、ずいぶん以前のネット環境を考慮したお願いでした。ただ、最近においては光回線も当たり前になってきましたし皆さんの撮影する画像も精度よくボリュームも大きくなってきましたのでこれを機会に目安を少し大きくしようと思えます。今後は

投稿のファイルはjpg で、サイズは3M を目安に お願いします。

あまり大きなサイズの画像が添付されたメールは受信側に読み込みの負担が大きく(非常に時間がかかり)、そのメールがダウンロードされるまで他のメールを読むことができないなどの支障をきたすばかりでなく、場合によっては送信したはずのメールがサーバー側で拒否され送信されなかったりすることがあります。ご注意ください。



大分天文協会

Astronomical Society of Oita